

① 2 | アンケート結果（概要）

1. アンケート調査の目的

本県に対するイメージや暮らしやすさなど、本県の現状に対する県民の認識を把握するとともに、「2040年の愛媛県に期待する姿」など、今後の県政運営に対する意見を把握し、総合計画策定の基礎資料とするために、「未来の愛媛県の姿に対する希望調査」（中学2年生対象）、「高校生の皆さんへの進路や将来像に関するアンケート」（高校2年生・中等教育学校5年生対象）、「愛媛県の新しい未来を描くためのアンケート調査」（県内に住む2000人の県民（18歳以上）対象）、「愛媛県長期計画第3期アクションプログラムの検証に係るアンケート調査」（現行長期計画に掲げる4分野（産業・暮らし・人づくり・環境）における県内関係団体等対象）の各調査を実施しました。

2. 未来の愛媛県の姿に対する希望調査

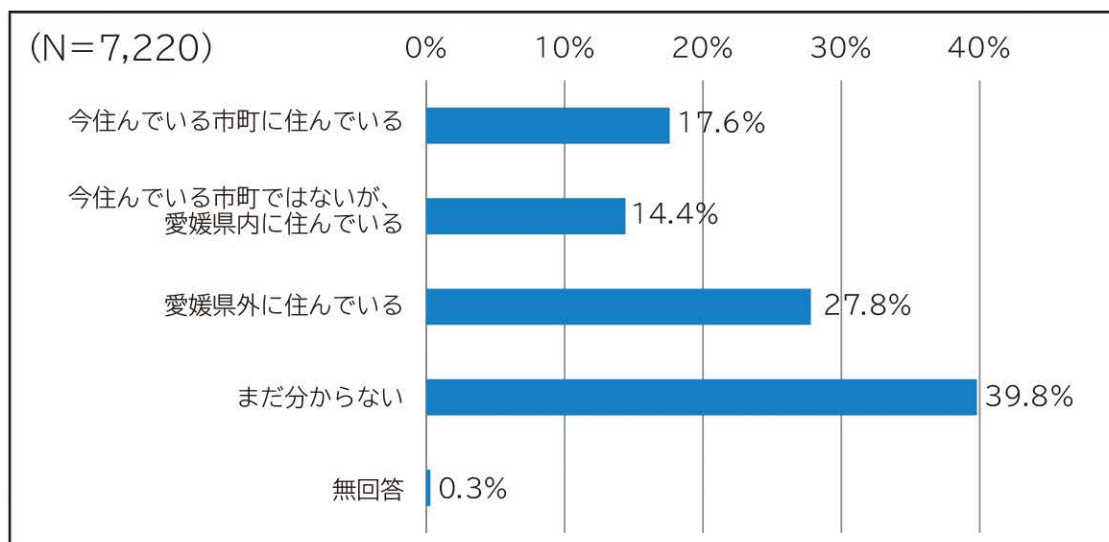
（1）調査概要

- ・調査対象 県内公立中学校2年生
- ・調査方法 各中学校を通じ、各校に在籍する生徒を対象としたWEB調査を実施
- ・調査時期 令和4年7月1日～令和4年7月19日
- ・有効回収数 7,220件

（2）結果概要

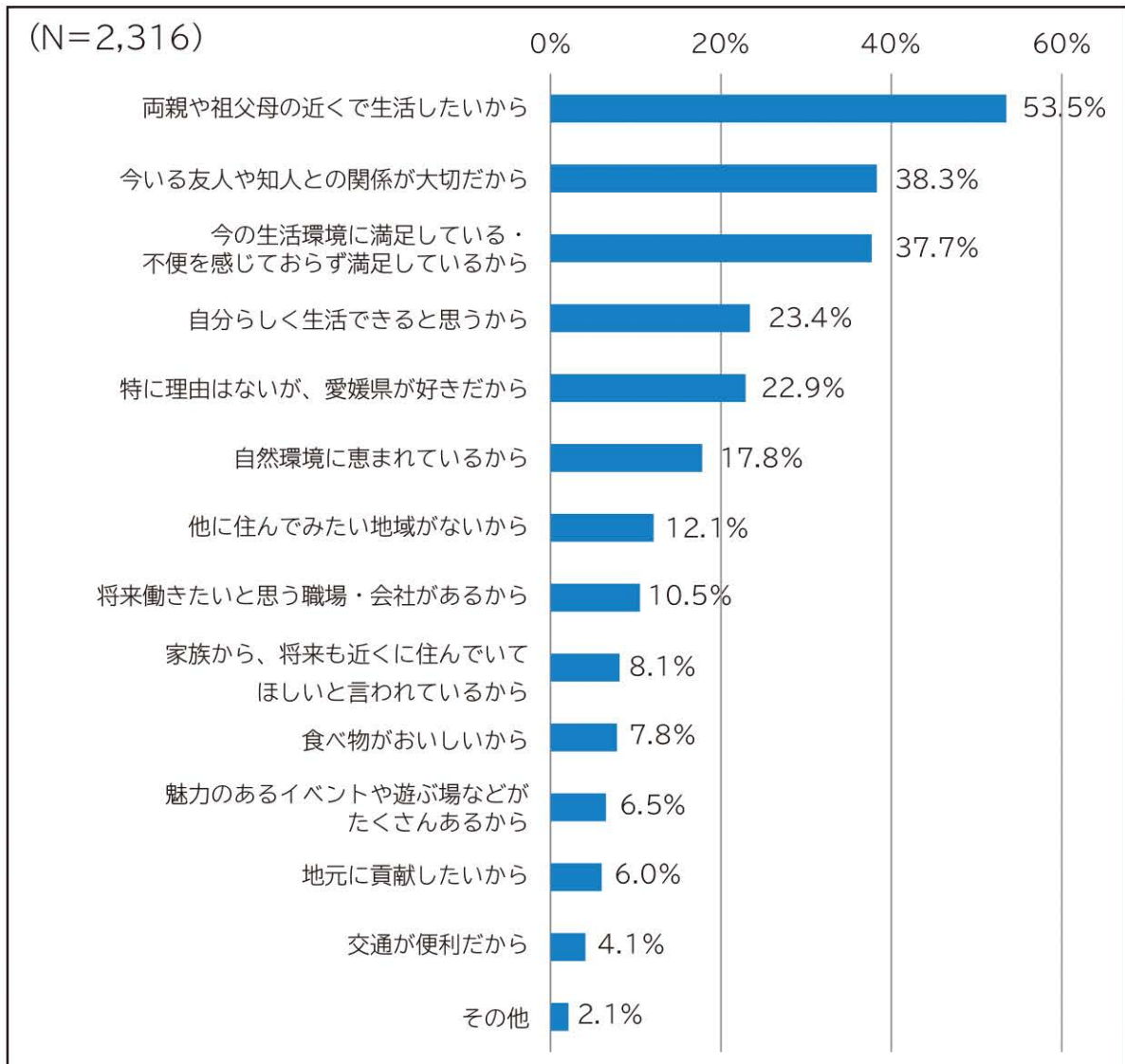
① 30歳になった頃（2040年頃）、住んでいる場所（単一回答）

「まだ分からない」（39.8%）が最も多く、次いで「愛媛県外に住んでいる」（27.8%）、「今住んでいる市町に住んでいる」（17.6%）、「今住んでいる市町ではないが、愛媛県内に住んでいる」（14.4%）」となっている。



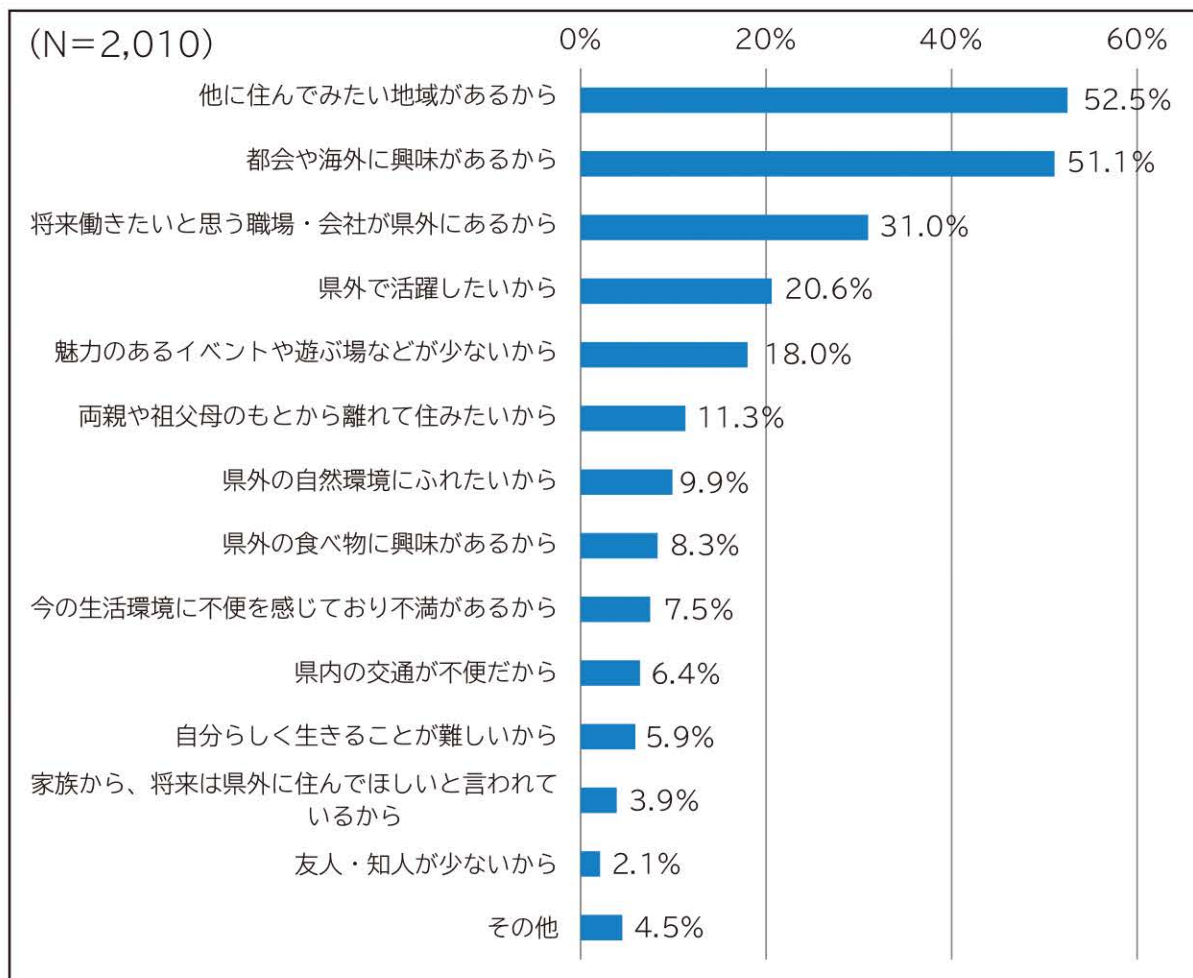
②今住んでいる市町・愛媛県内に住んでいる理由（複数回答（3つまで））

「両親や祖父母の近くで生活したいから」（53.5%）が最も多く、次いで「今いる友人や知人との関係が大切だから」（38.3%）、「今の生活環境に満足している・不便を感じておらず満足しているから」（37.7%）となっている。



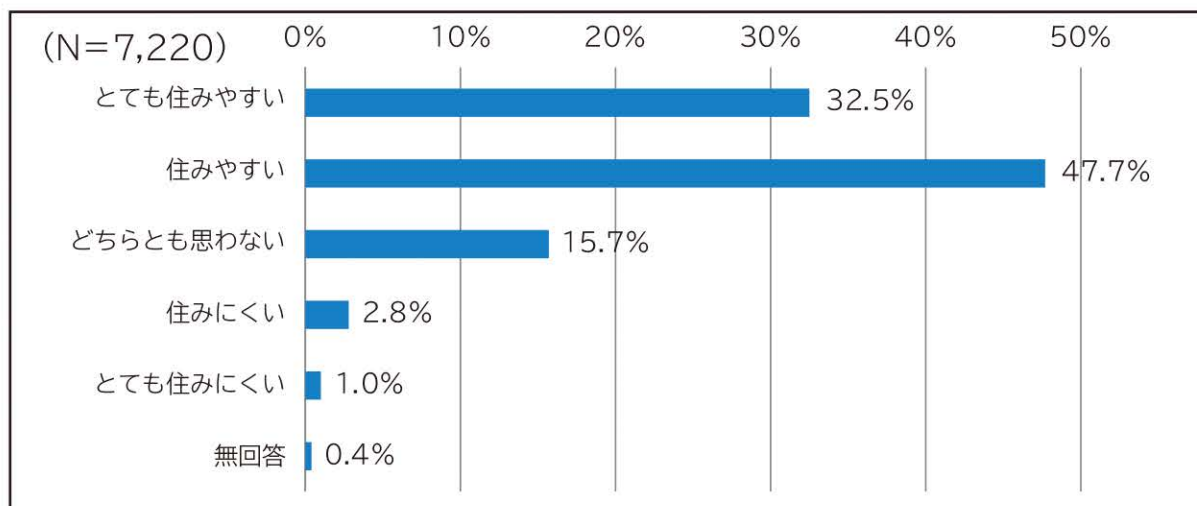
③愛媛県外に住んでいる理由（複数回答（3つまで））

「他に住んでみたい地域があるから」（52.5%）が最も多く、次いで「都会や海外に興味があるから」（51.1%）、「将来働きたいと思う職場・会社が県外にあるから」（31.0%）となっている。



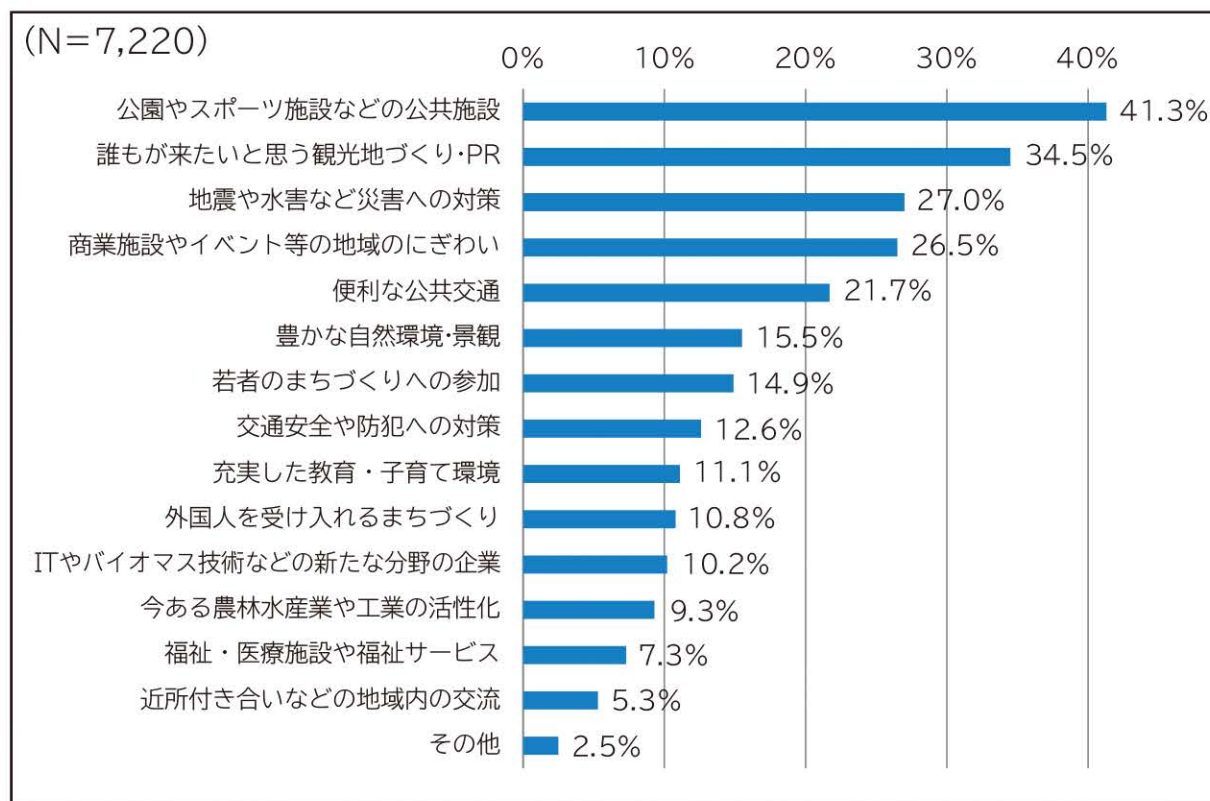
④愛媛県（現在住んでいる市町）についての総合的な住みやすさ（単一回答）

「住みやすい」（47.7%）が最も多く、次いで「とても住みやすい」（32.5%）となっており、合わせて約80%が現在住んでいる市町を住みやすいと思っている。



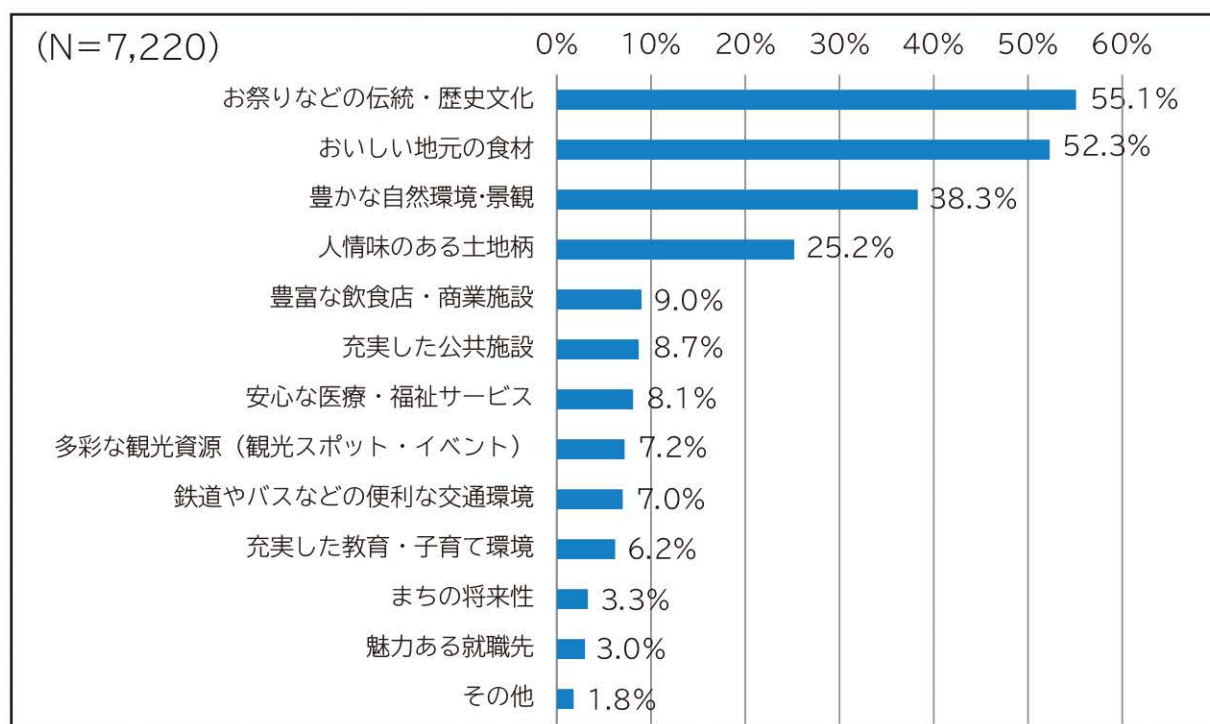
⑤愛媛県（現在住んでいる市町）について、あったらよい、よりよくなってほしいと思うもの（複数回答（3つまで））

「公園やスポーツ施設などの公共施設」（41.3%）が最も多く、次いで「誰もが来たいと思う観光地づくり・PR」（34.5%）、「地震や水害など災害への対策」（27.0%）、「商業施設やイベント等の地域のにぎわい」（26.5%）、「便利な公共交通」（21.7%）となっている。



⑥愛媛県（現在住んでいる市町）の魅力（複数回答（3つまで））

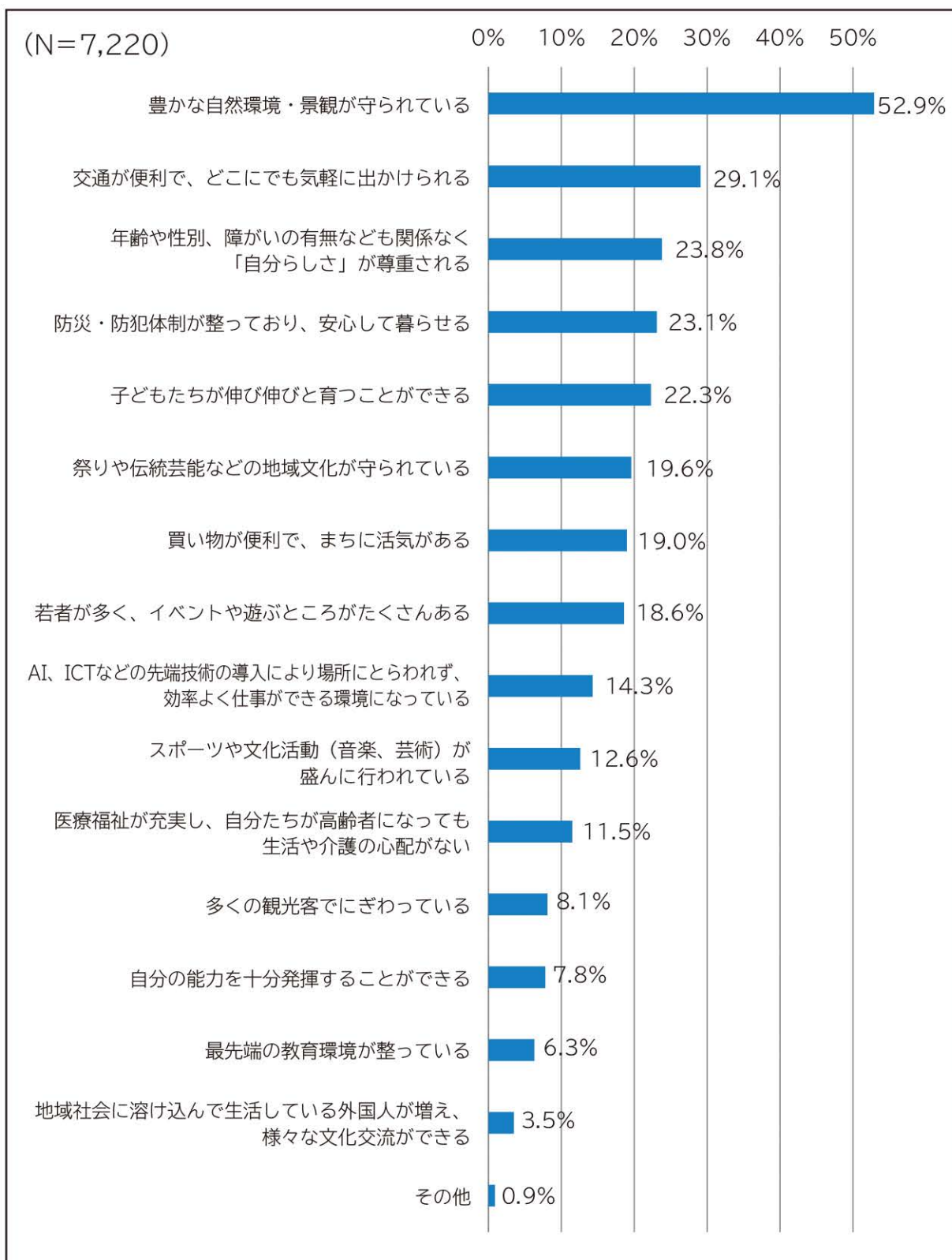
「お祭りなどの伝統・歴史文化」（55.1%）が最も多く、次いで「おいしい地元の食材」（52.3%）、「豊かな自然環境・景観」（38.3%）となっている。



⑦30歳になった頃（2040年頃）の愛媛県（現在住んでいる市町）の姿の希望

（複数回答（3つまで））

「豊かな自然環境・景観が守られている」（52.9%）が最も多く、次いで「交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる」（29.1%）、「年齢や性別、障がいの有無なども関係なく「自分らしさ」が尊重される」（23.8%）となっている。



3. 高校生の皆さんへの進路や将来像に関するアンケート

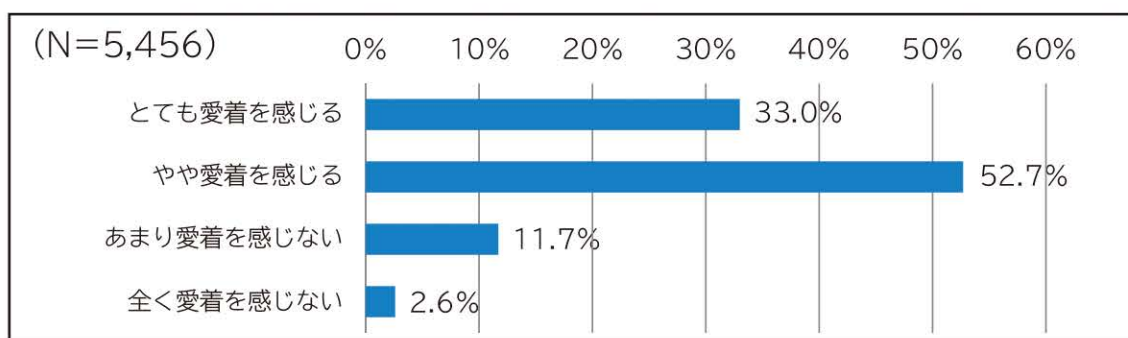
(1) 調査概要

- ・調査対象 県立高校2年生、中等教育学校5年生
- ・調査方法 株式会社いよぎん地域経済研究センターが実施するアンケートに県の調査項目を一部追加し、各高校、各中等教育学校を通じ、各校に在籍する生徒を対象としたWEB調査を実施
- ・調査時期 令和4年11月7日～令和4年11月18日
- ・有効回収数 5,456件

(2) 結果概要

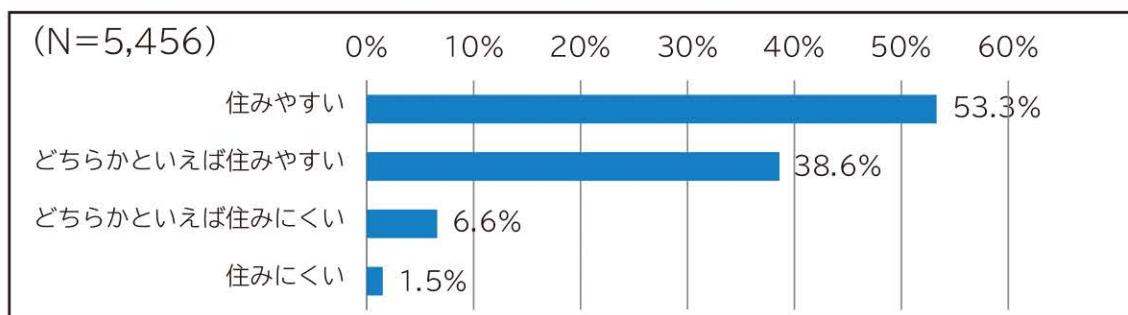
①愛媛への愛着（単一回答）

「やや愛着を感じる（52.7%）が最も多く、次いで「とても愛着を感じる」（33.0%）となっており、合わせて約86%が愛着を感じている。



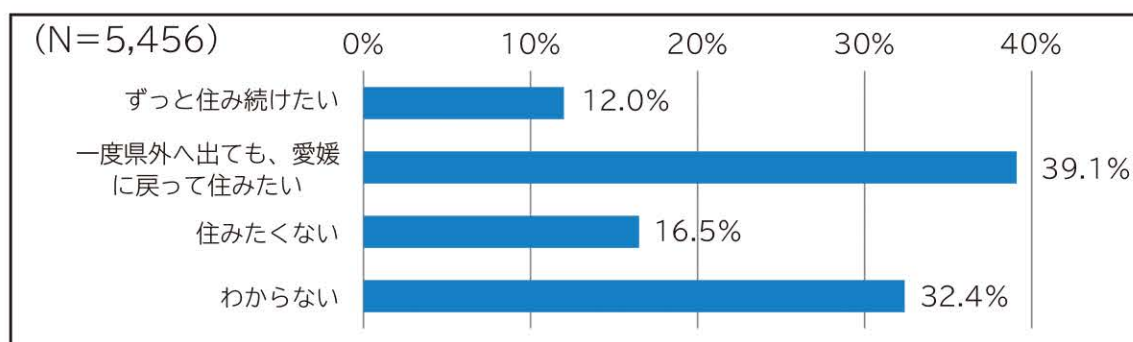
②愛媛の住みやすさ（単一回答）

「住みやすい」（53.3%）が最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」（38.6%）となっており、合わせて約92%が住みやすいと思っている。



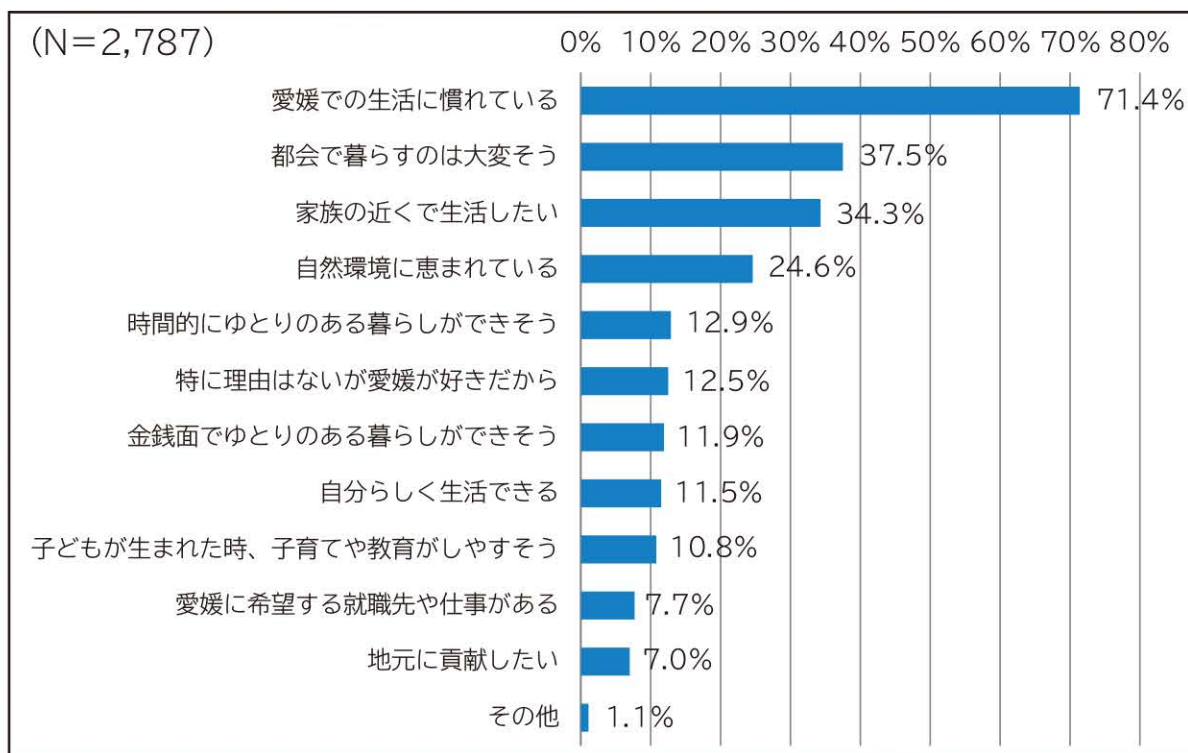
③将来、愛媛に住む意向（単一回答）

「一度県外へ出ても、愛媛に戻って住みたい」（39.1%）が最も多くなっている。



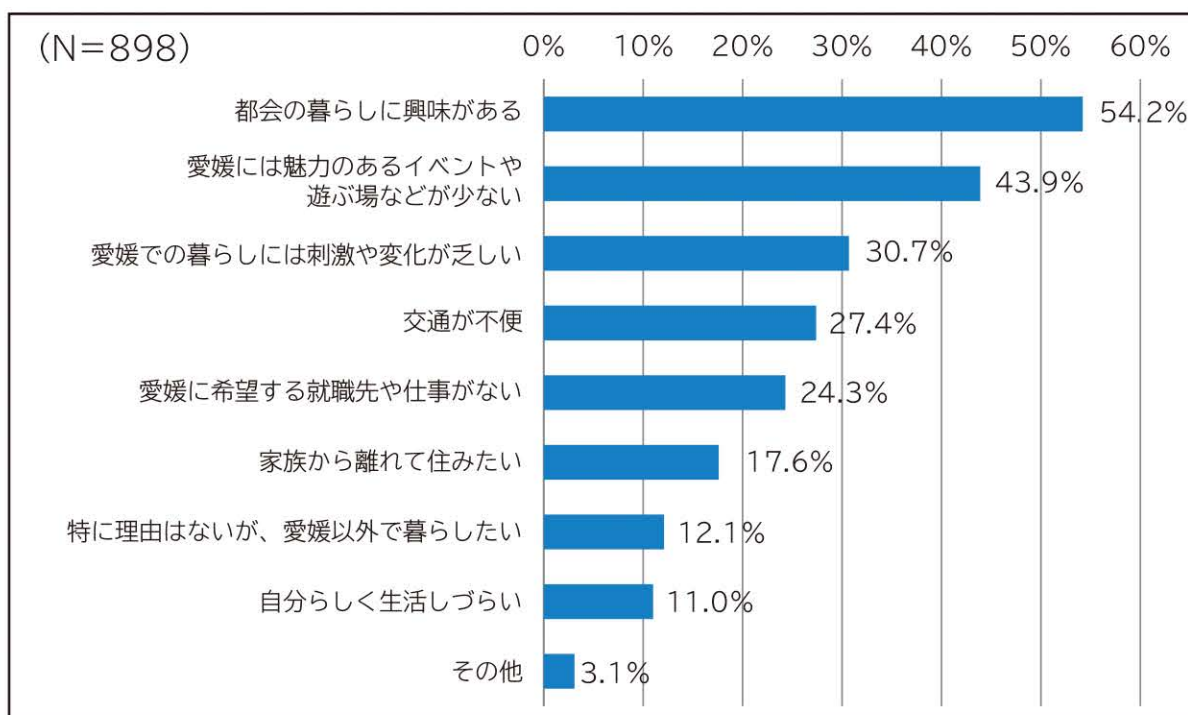
④将来、愛媛に住みたい理由（複数回答（3つまで））

「愛媛での生活に慣れている」（71.4%）が最も多く、次いで「都会で暮らすのは大変そう」（37.5%）、「家族の近くで生活したい」（34.3%）となっている。



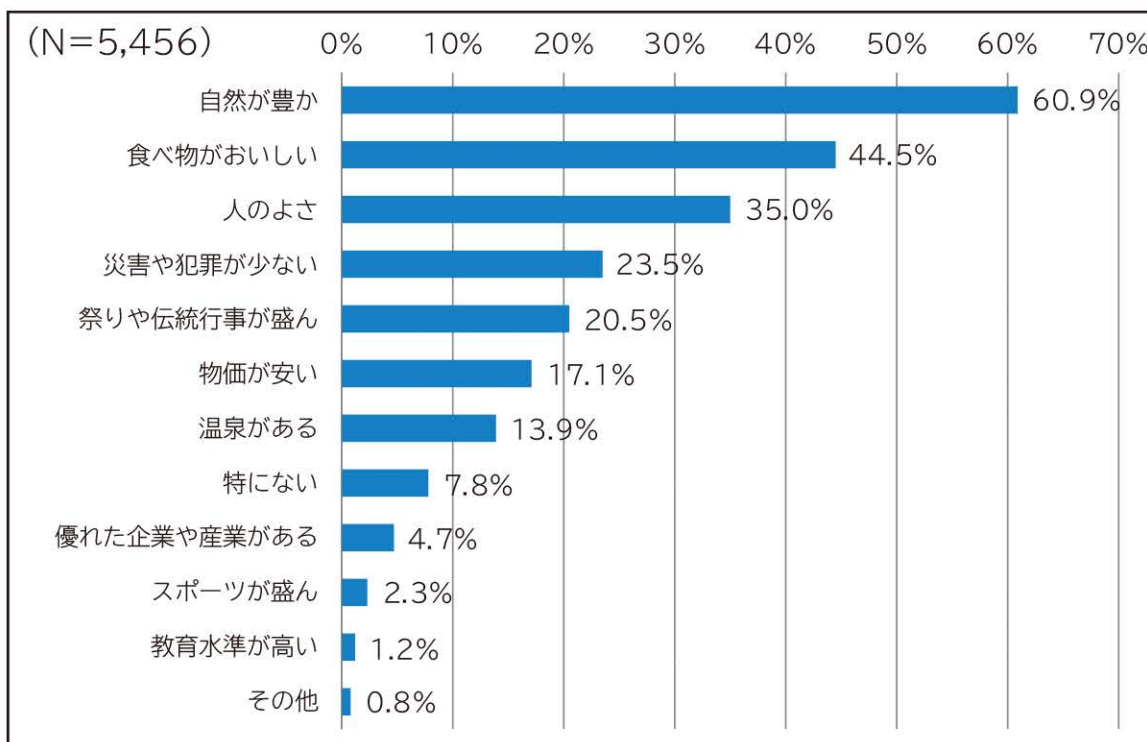
⑤将来、愛媛に住みたくない理由（複数回答（3つまで））

「都会の暮らしに興味がある」（54.2%）が最も多く、次いで「愛媛には魅力のあるイベントや遊ぶ場などが少ない」（43.9%）、「愛媛での暮らしには刺激や変化が乏しい」（30.7%）となっている。



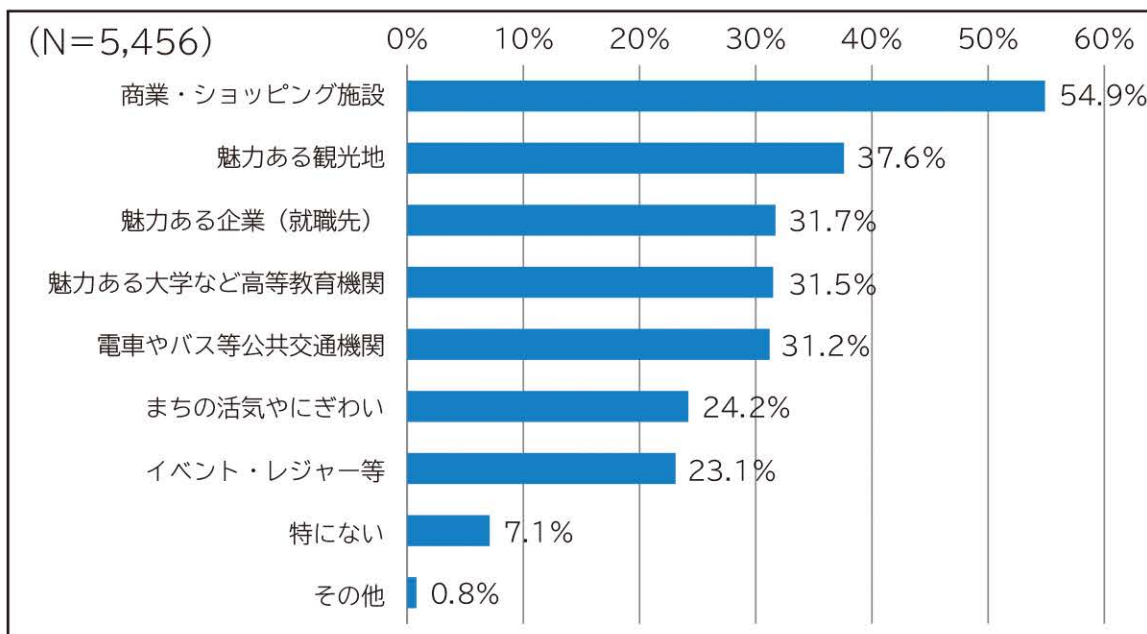
⑥愛媛の魅力（複数回答（3つまで））

「自然が豊か」（60.9%）が最も多く、次いで「食べ物がおいしい」（44.5%）、「人のよさ」（35.0%）となっている。



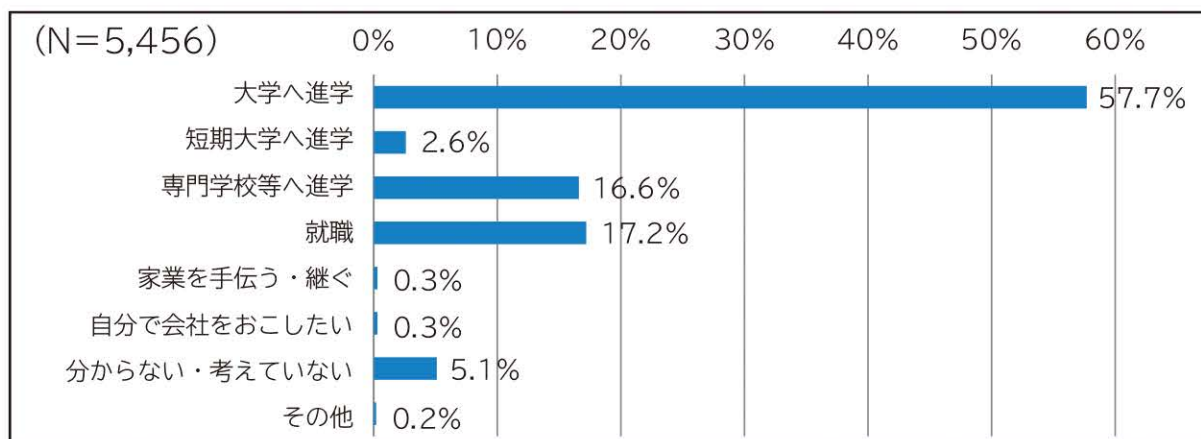
⑦愛媛に足りないと感じるところ（複数回答（3つまで））

「商業・ショッピング施設」（54.9%）が最も多く、次いで「魅力ある観光地」（37.6%）、「魅力ある企業（就職先）」（31.7%）、「魅力ある大学など高等教育機関」（31.5%）、「電車やバス等公共交通機関」（31.2%）となっている。



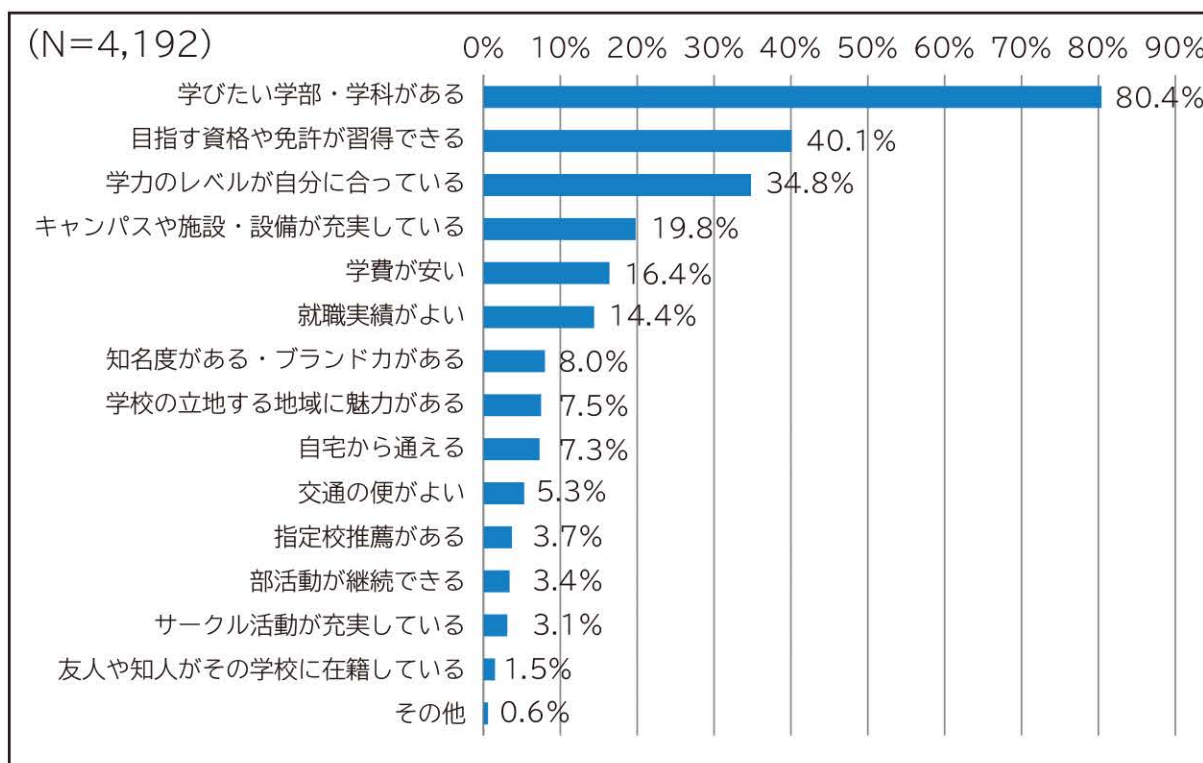
⑧高校卒業後の進路（単一回答）

「大学へ進学」（57.7%）が最も多く、次いで「就職」（17.2%）、「専門学校等へ進学」（16.6%）となっており、「短期大学へ進学」（2.6%）と合わせて約77%が進学を希望している。



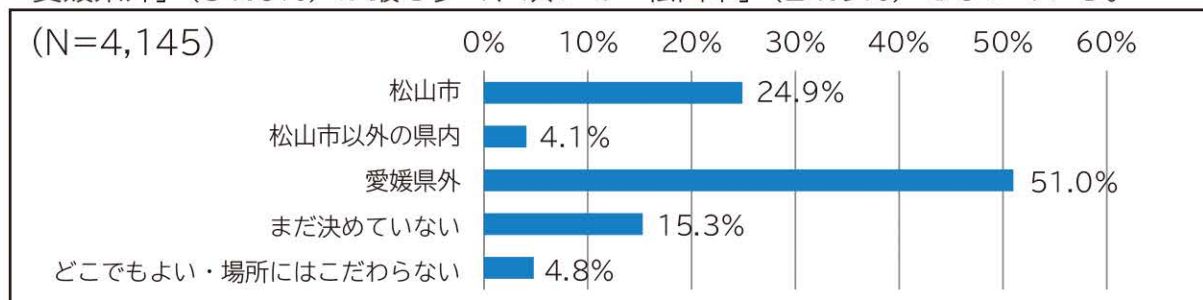
⑨進学先や志望校を決める際に重視すること（複数回答（3つまで））

「学びたい学部・学科がある」（80.4%）が最も多く、次いで「目指す資格や免許が習得できる」（40.1%）、「学力のレベルが自分に合っている」（34.8%）となっている。



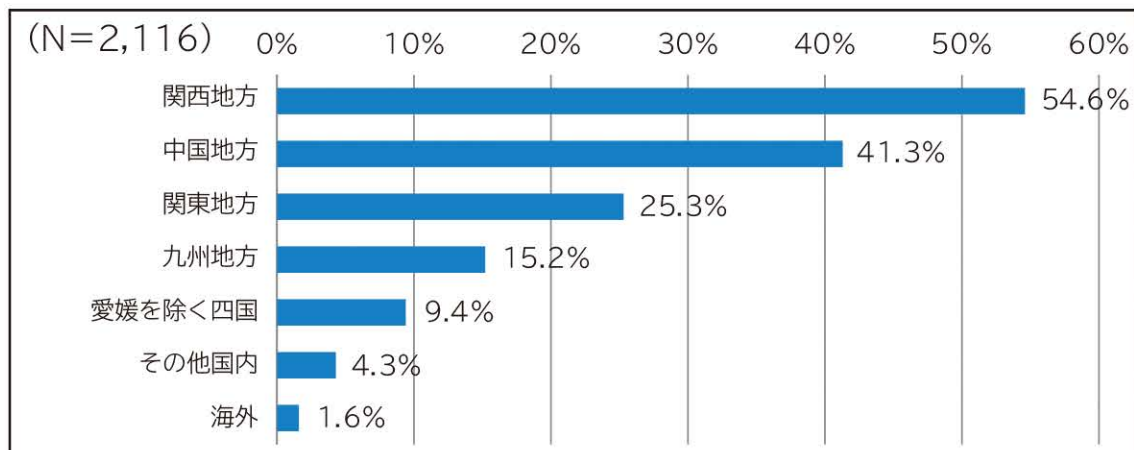
⑩進学を希望する地域（単一回答）

「愛媛県外」（51.0%）が最も多く、次いで「松山市」（24.9%）となっている。



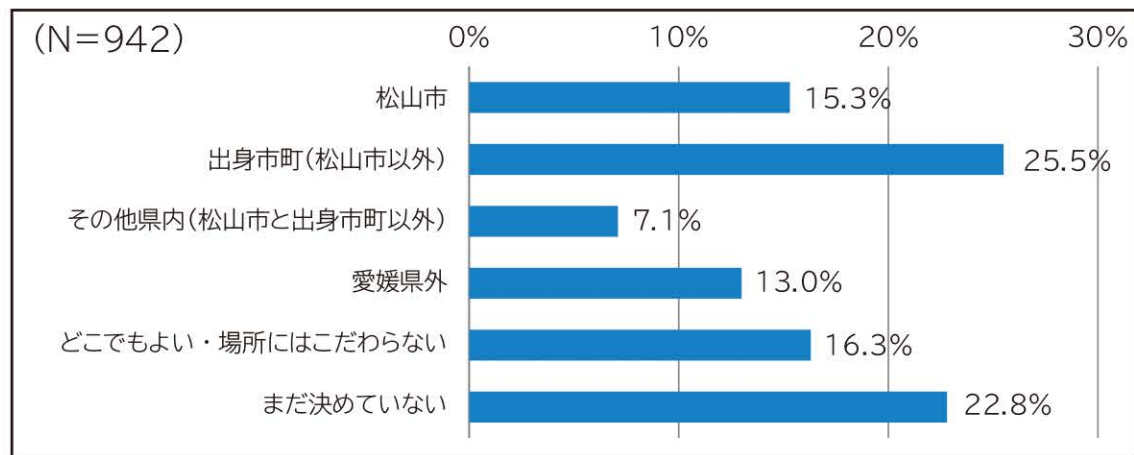
⑪愛媛県外で進学を希望する地域（複数回答（該当するもの全て））

「関西地方」（54.6%）が最も多く、次いで「中国地方」（41.3%）となっている。



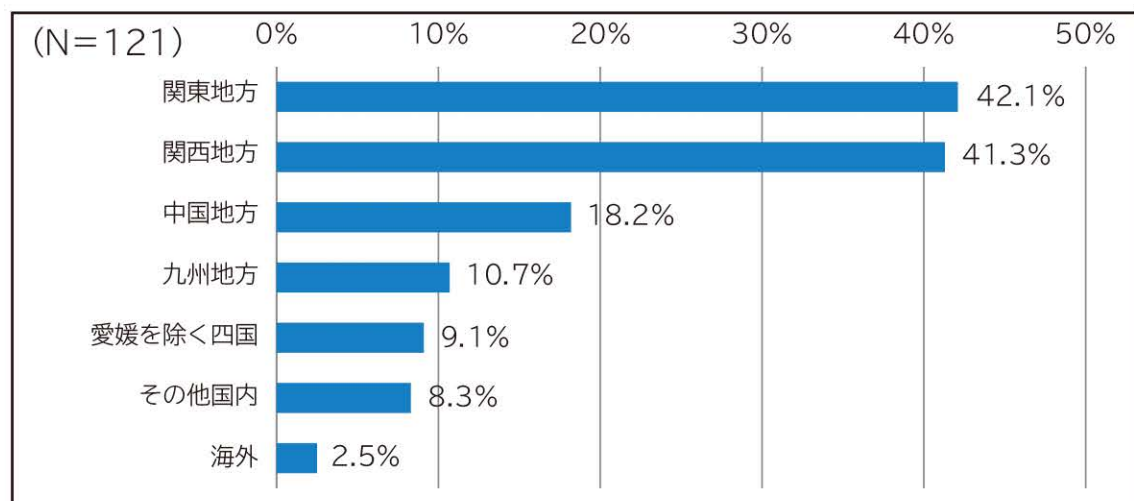
⑫就職を希望する地域（単一回答）

「出身市町（松山市以外）」（25.5%）が最も多く、「松山市」（15.3%）、「その他県内（松山市と出身市町以外）」（7.1%）を合わせると、県内での就職希望は約48%となっている。



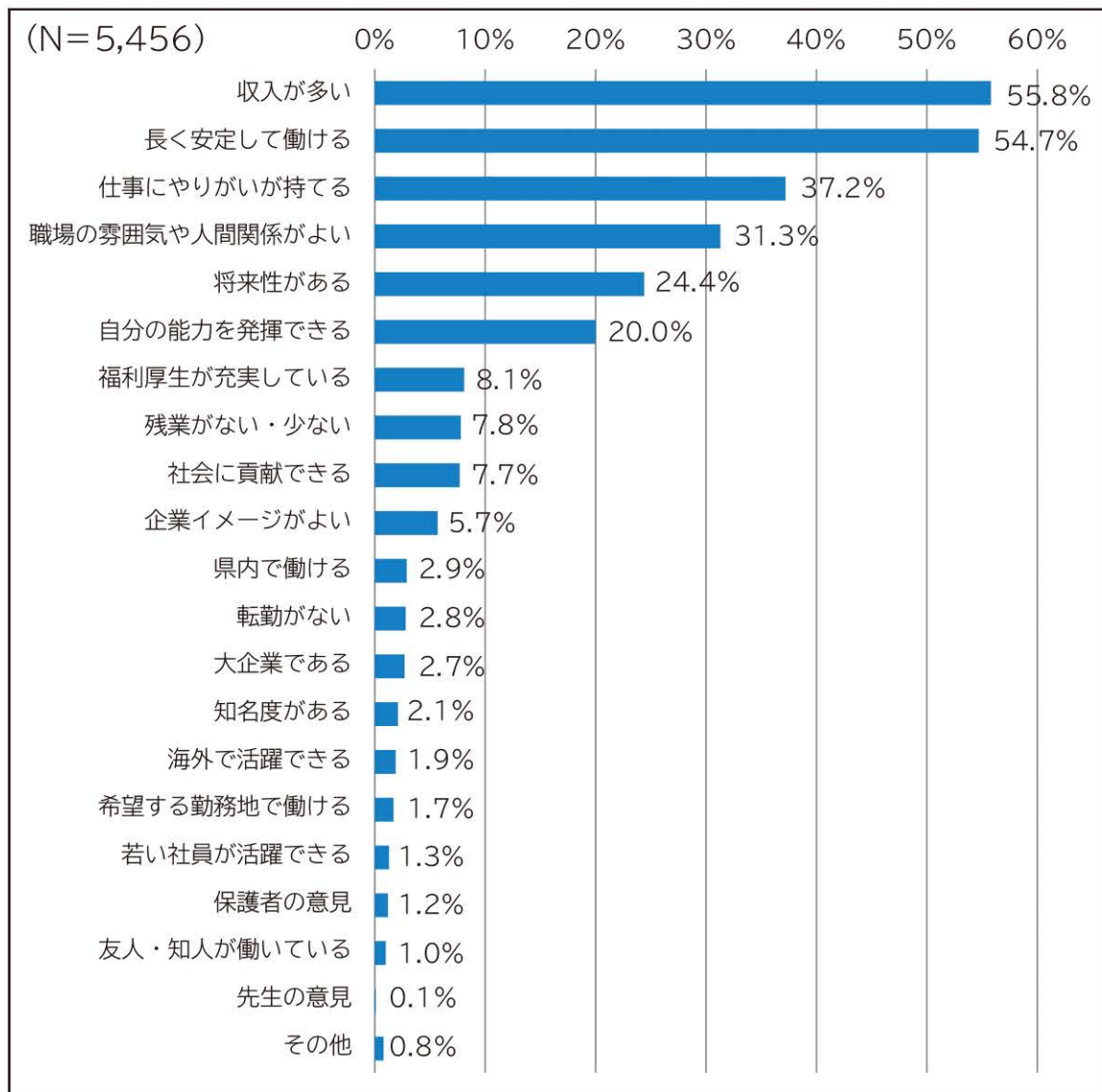
⑬愛媛県外で就職を希望する地域（複数回答（該当するもの全て））

「関東地方」（42.1%）が最も多く、次いで「関西地方」（41.3%）となっている。



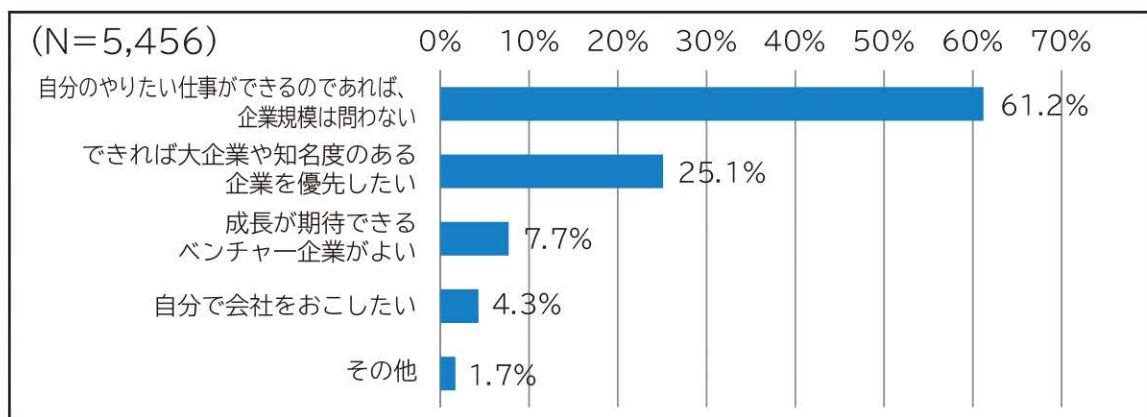
⑭仕事を選ぶときに重視すること（複数回答（3つまで））

「収入が多い」（55.8%）が最も多く、次いで「長く安定して働ける」（54.7%）、「仕事にやりがいがある」（37.2%）となっている。



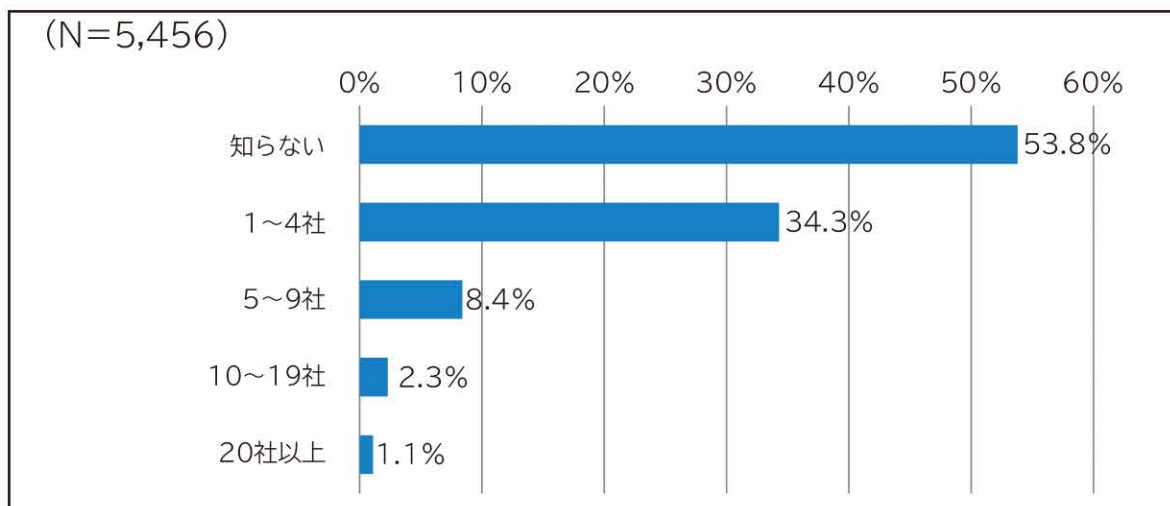
⑮働きたい企業等の希望（単一回答）

「自分のやりたい仕事ができるのであれば、企業規模は問わない（大企業でも中小企業でもよい）」（61.2%）が最も多く、次いで「できれば大企業や知名度のある企業を優先したい」（25.1%）となっている。



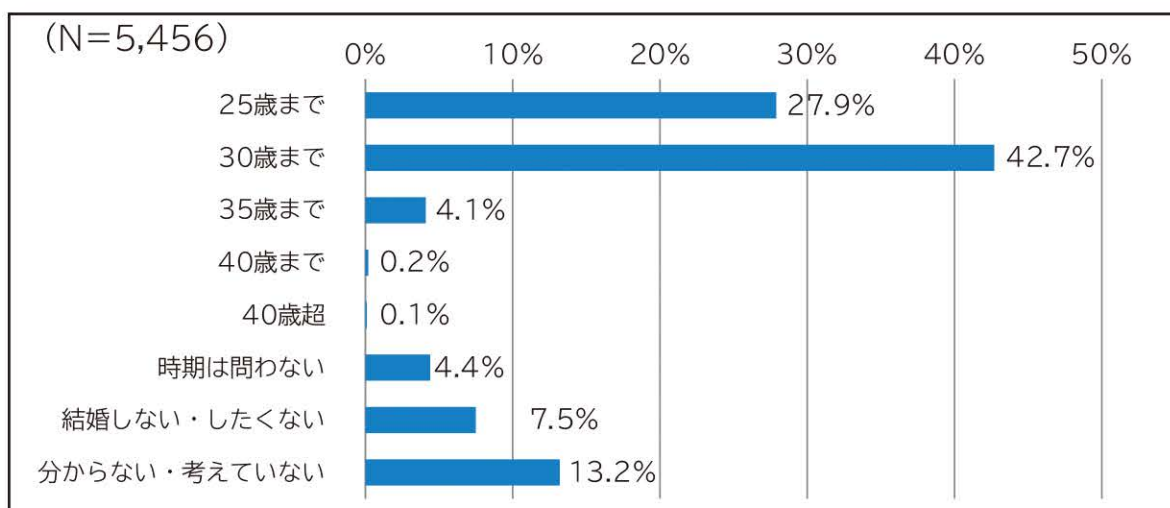
⑯知っている愛媛の企業数（単一回答）

「知らない」（53.8%）が最も多く、次いで「1社～4社」（34.3%）となっている。



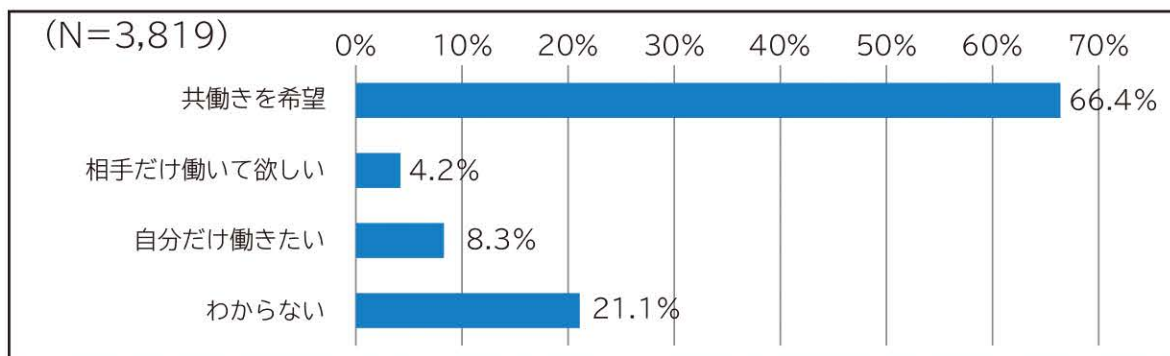
⑰結婚の時期（単一回答）

「30歳まで」（42.7%）が最も多く、次いで「25歳まで」（27.9%）となっており、約7割の人が早期の結婚を望んでいる。



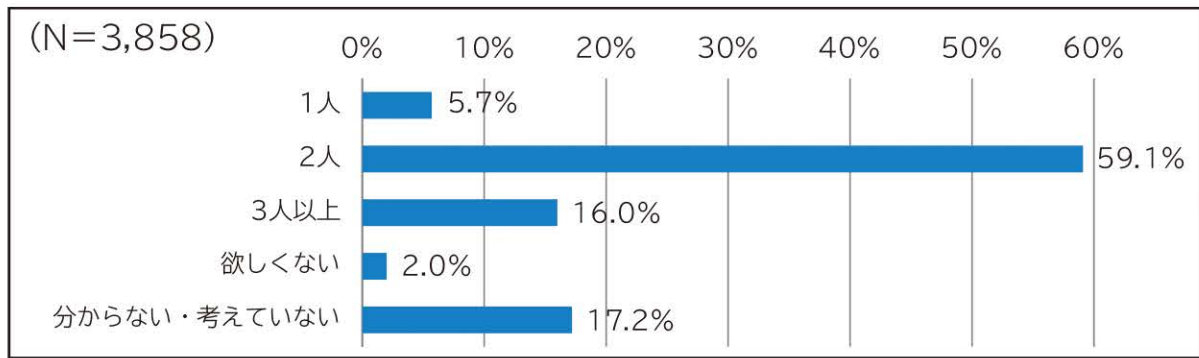
⑱結婚後の仕事に対する意向（単一回答）

「共働きを希望」（66.4%）が最も多くなっている。



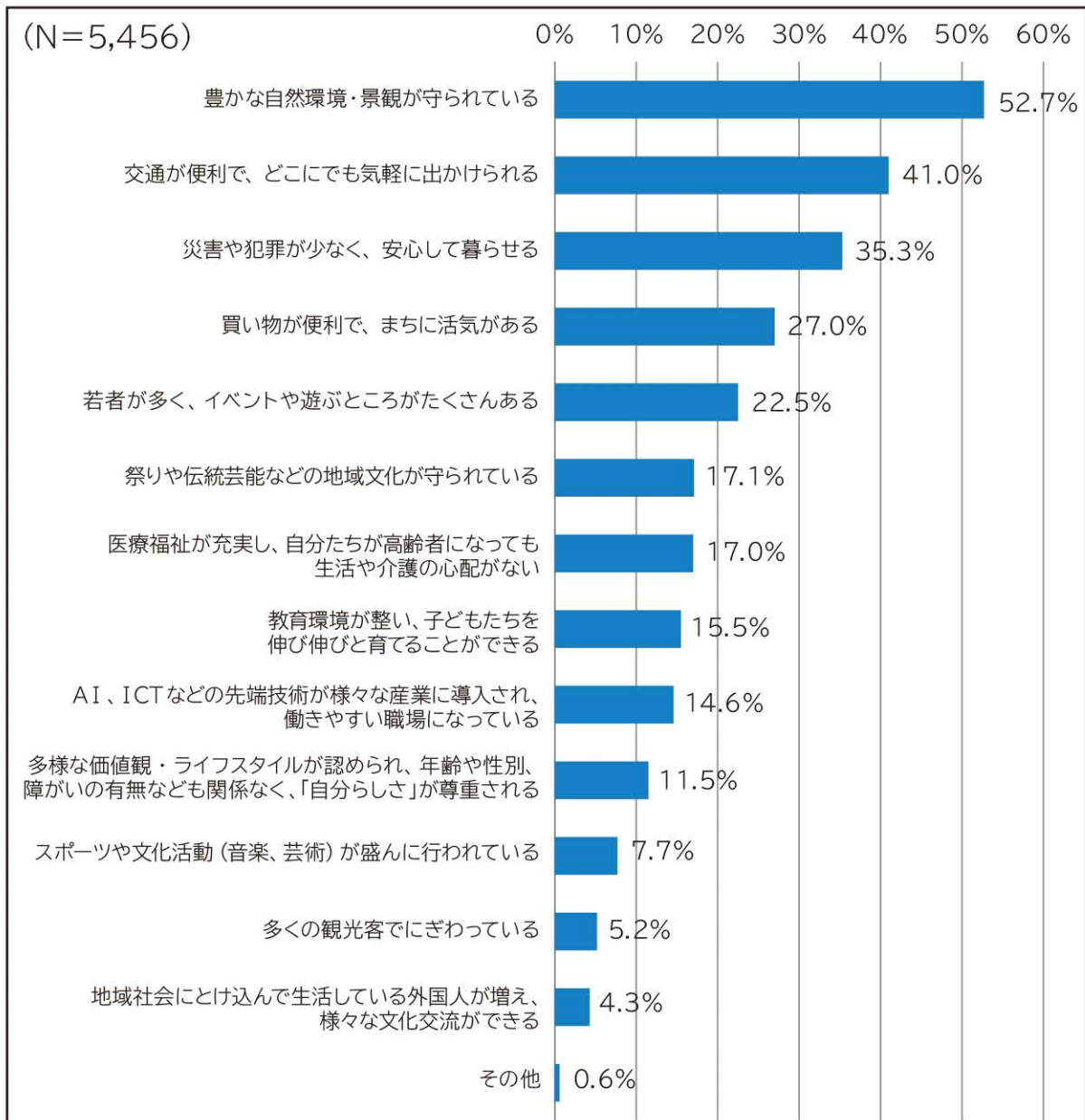
⑱希望する子どもの数（単一回答）

「2人」(59.1%) が最も多くなっており、「3人以上」(16.0%) を含めると、約75% の人が複数の子どもを持ちたいと思っている。



⑳将来の愛媛の姿の希望（複数回答（3つまで））

「豊かな自然環境・景観が守られている」(52.7%) が最も多く、次いで「交通が便利で、どこにでも気軽に出かけられる」(41.0%)、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる」(35.3%) となっている。



4. 愛媛県の新しい未来を描くためのアンケート調査

(1) 調査概要

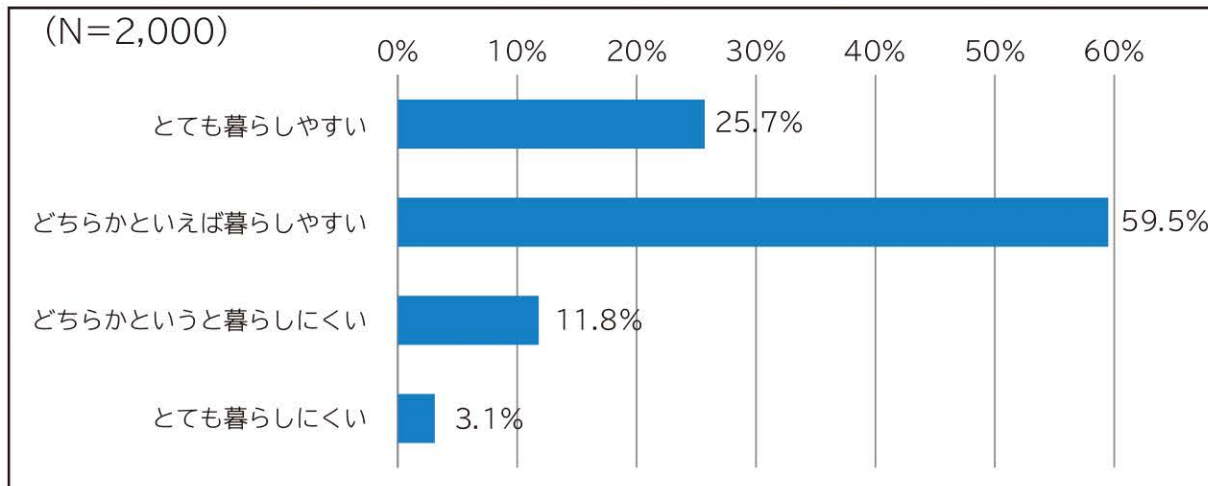
- ・調査対象 愛媛県内に住む県民2,000人（18歳以上）
- ・調査方法 アンケート調査会社のモニターを対象としたインターネット調査
- ・調査時期 令和4年8月19日～令和4年8月31日
- ・有効回収数 2,000件

居住地域	男性					計
	18歳～29歳	30代	40代	50代	60歳～79歳	
松山地区	58	82	80	75	145	440
西条・新居浜・宇摩	24	40	41	35	80	220
今治	5	19	26	20	45	115
宇和島	5	10	15	22	48	100
八幡浜・大洲	5	16	20	32	47	120
男性・計	97	167	182	184	365	995
居住地域	女性					計
	18歳～29歳	30代	40代	50代	60歳～79歳	
松山地区	75	75	90	85	170	495
西条・新居浜・宇摩	25	35	56	53	61	230
今治	15	15	20	29	46	125
宇和島	5	10	19	17	14	65
八幡浜・大洲	10	19	22	26	13	90
女性・計	130	154	207	210	304	1,005
合計	227	321	389	394	669	2,000

(2) 結果概要

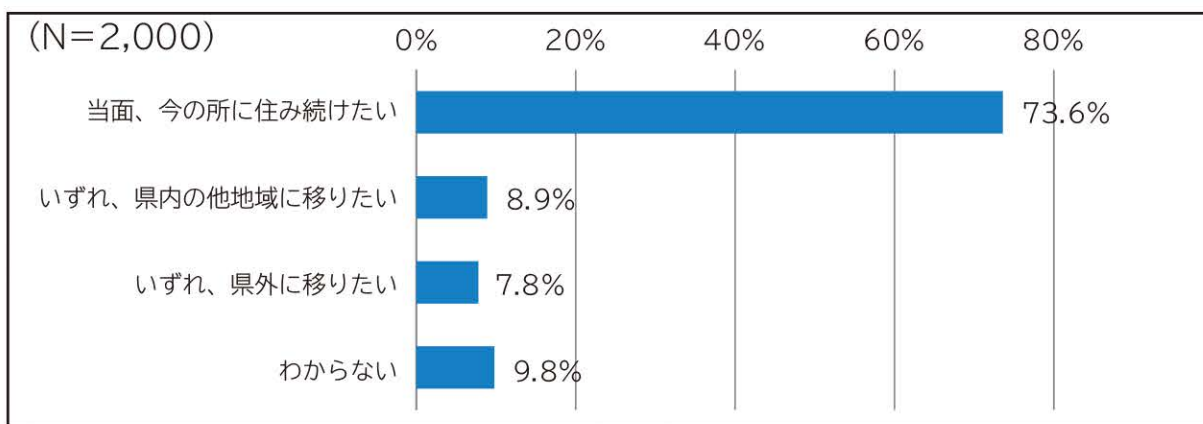
①今住んでいる地域の暮らしやすさ（単一回答）

「どちらかといえば暮らしやすい」（59.5%）が最も多く、次いで「とても暮らしやすい」（25.7%）となっており、合わせて約85%が暮らしやすさを感じている。



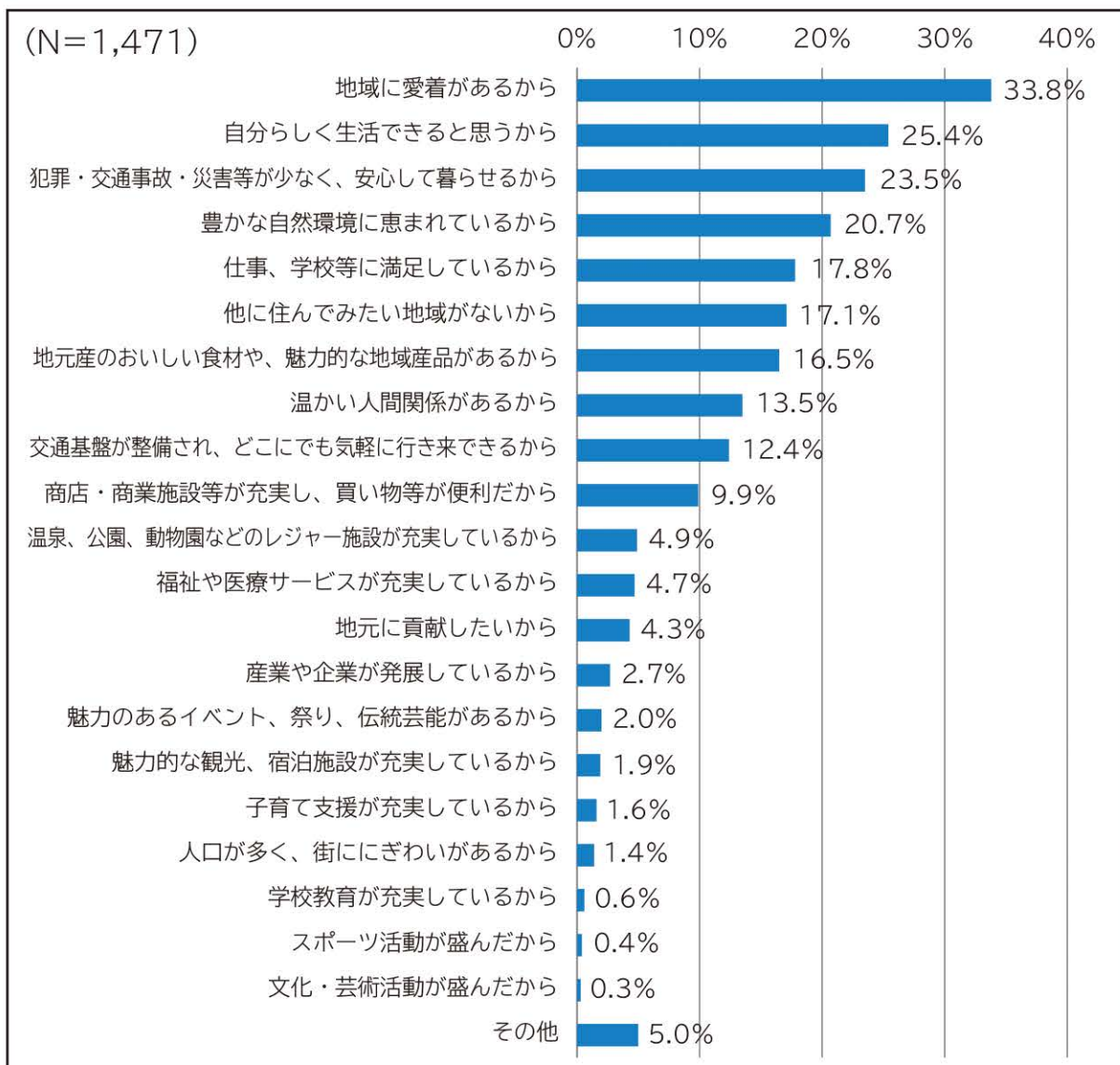
②今住んでいる地域の今後の居留意向（単一回答）

「当面、今の所に住み続けたい」（73.6%）が最も多く、「いずれ、県内の他地域に移りたい」（8.9%）と合わせると、県内への居留意向は約83%となっている。



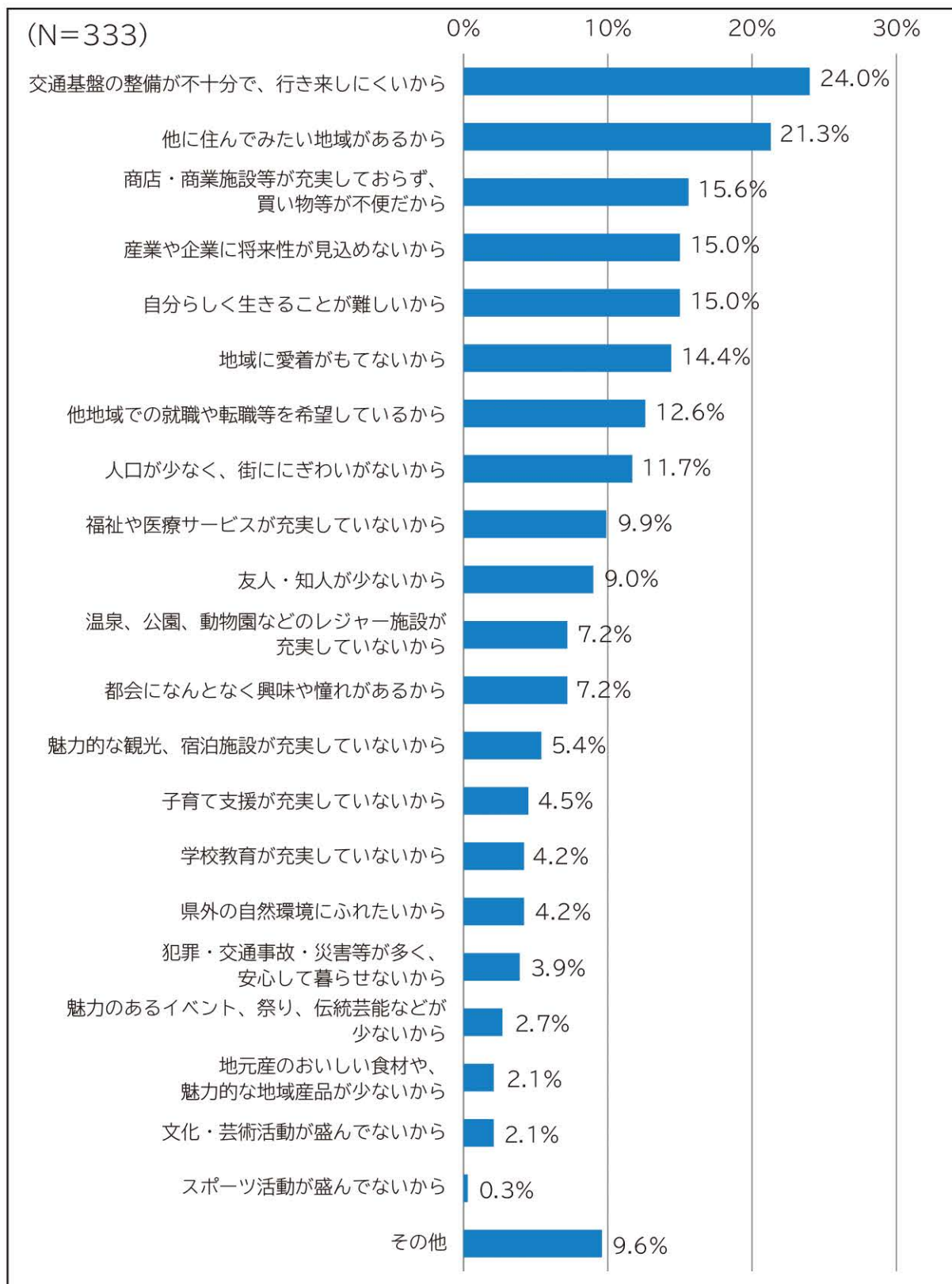
③今住んでいる地域に住み続けたい理由（複数回答（3つまで））

「地域に愛着があるから」（33.8%）が最も多く、次いで「自分らしく生活できると思うから」（25.4%）、「犯罪・交通事故・災害等が少なく、安心して暮らせるから」（23.5%）、「豊かな自然環境に恵まれているから」（20.7%）となっている。



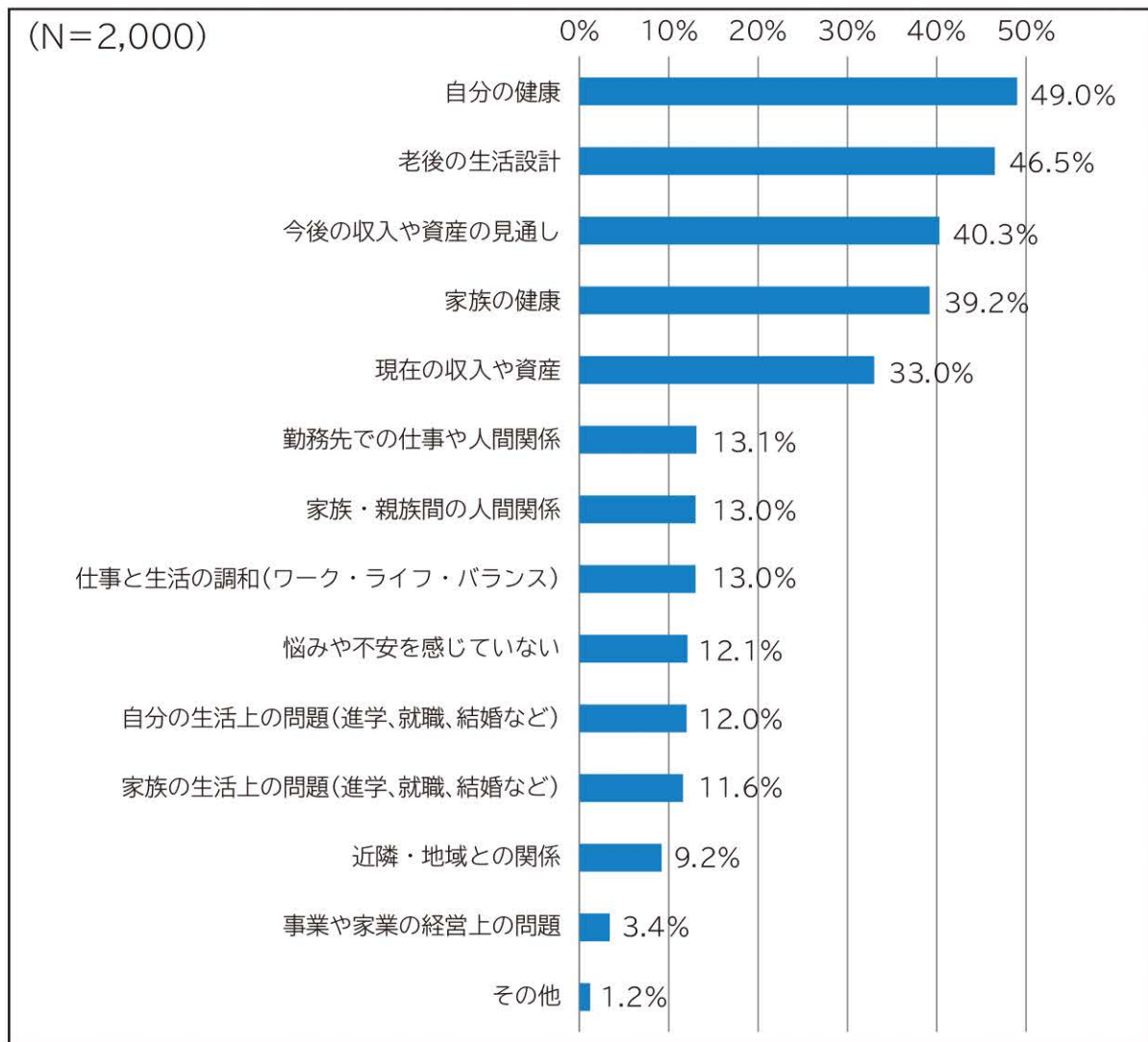
④県内の他地域や県外に移りたい理由（複数回答（3つまで））

「交通基盤の整備が不十分で、行き来しにくいから」（24.0%）が最も多く、次いで「他に住んでみたい地域があるから」（21.3%）、「商店・商業施設等が充実しておらず、買い物等が不便だから」（15.6%）、「産業や企業に将来性が見込めないから」「自分らしく生きることが難しいから」（同率で 15.0%）となっている。



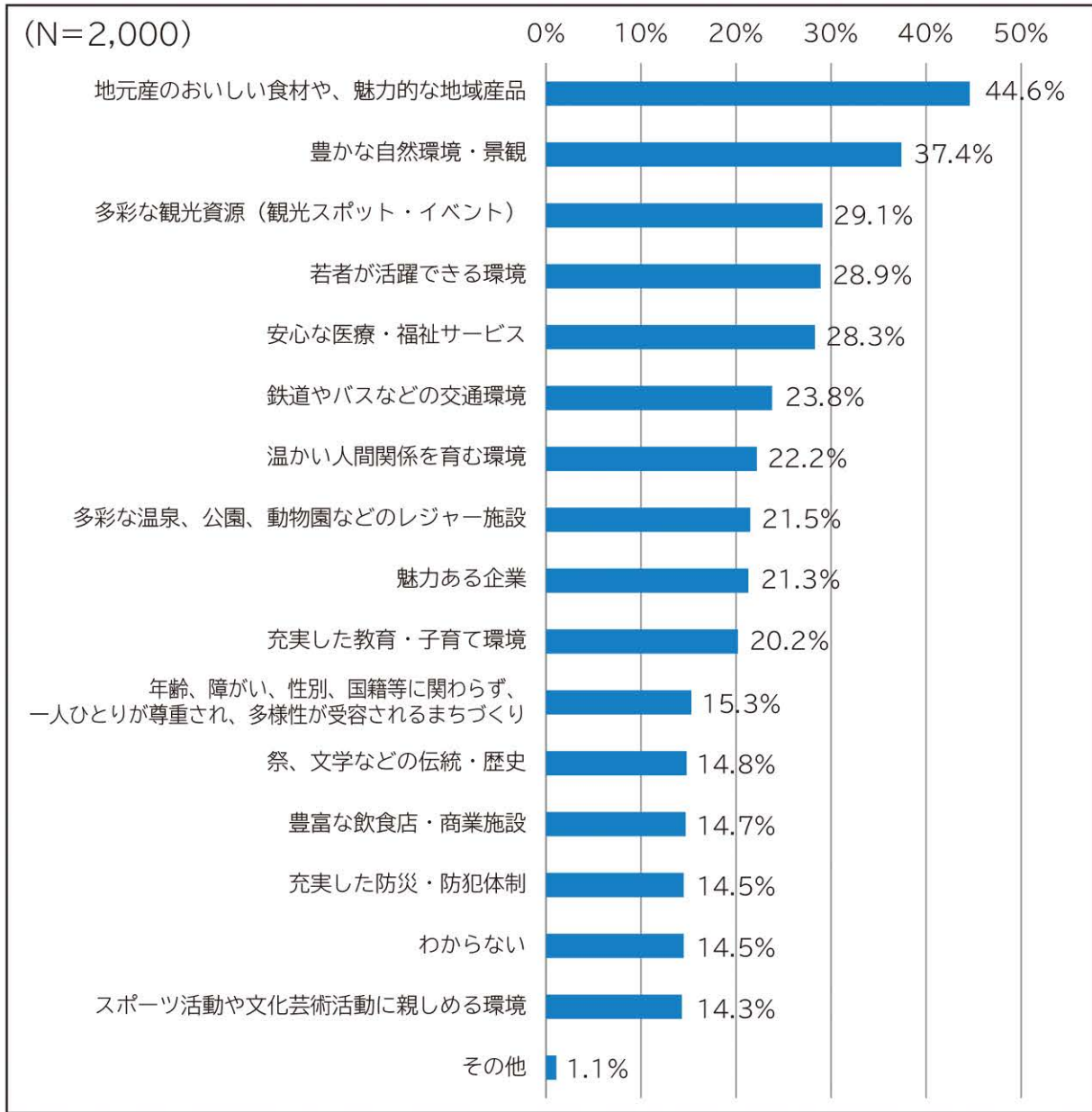
⑤日頃の生活の中での悩みや不安（複数回答（該当するもの全て））

「自分の健康」（49.0%）が最も多く、次いで「老後の生活設計」（46.5%）、「今後の収入や資産の見通し」（40.3%）、「家族の健康」（39.2%）となっている。



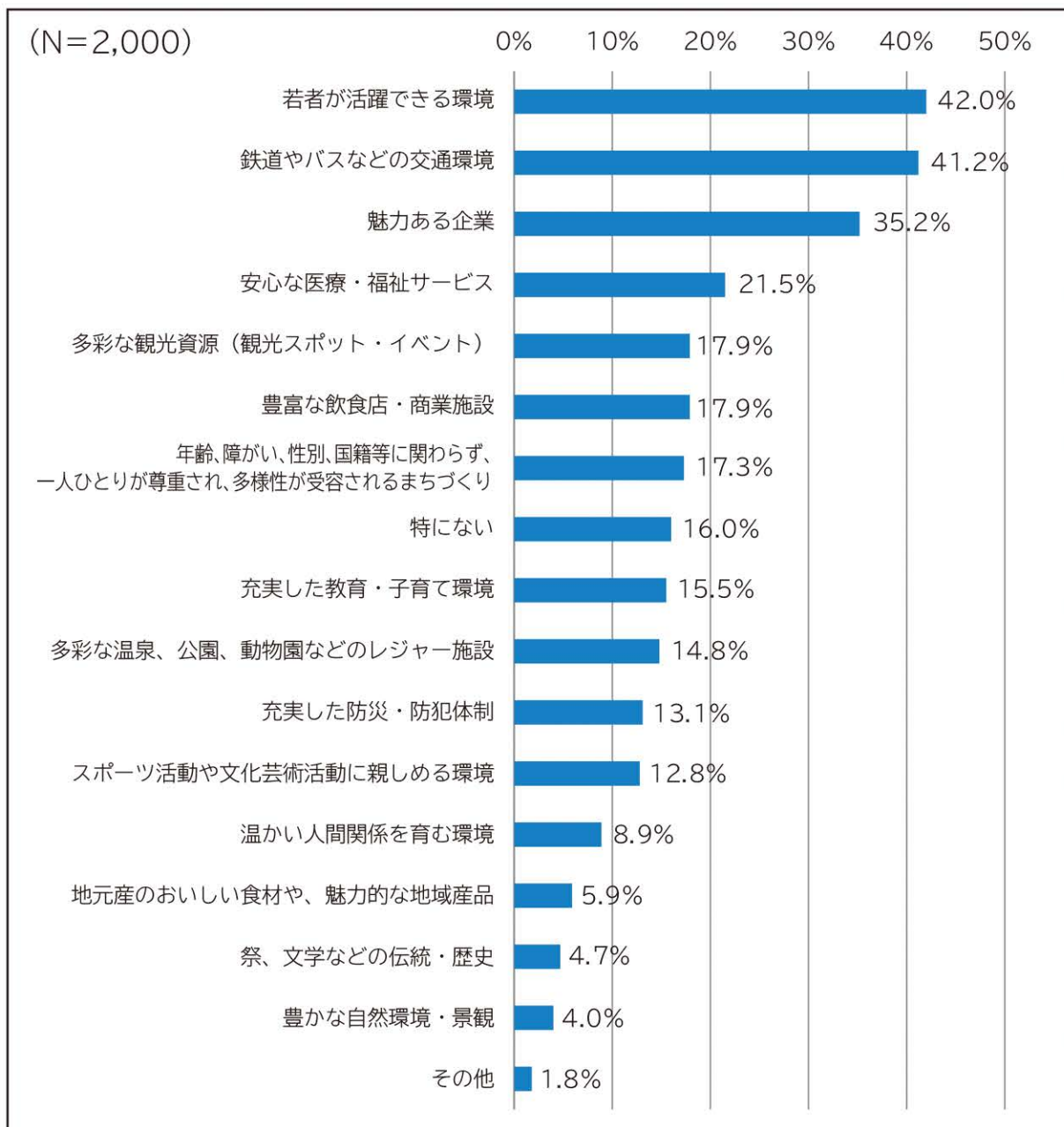
⑥愛媛県の魅力を高めるための地域資源の活用方法（複数回答（該当するもの全て））

「地元産のおいしい食材や、魅力的な地域産品」（44.6%）が最も多く、次いで「豊かな自然環境・景観」（37.4%）、「多彩な観光資源（観光スポット・イベント）」（29.1%）、「若者が活躍できる環境」（28.9%）、「安心な医療・福祉サービス」（28.3%）となっている。



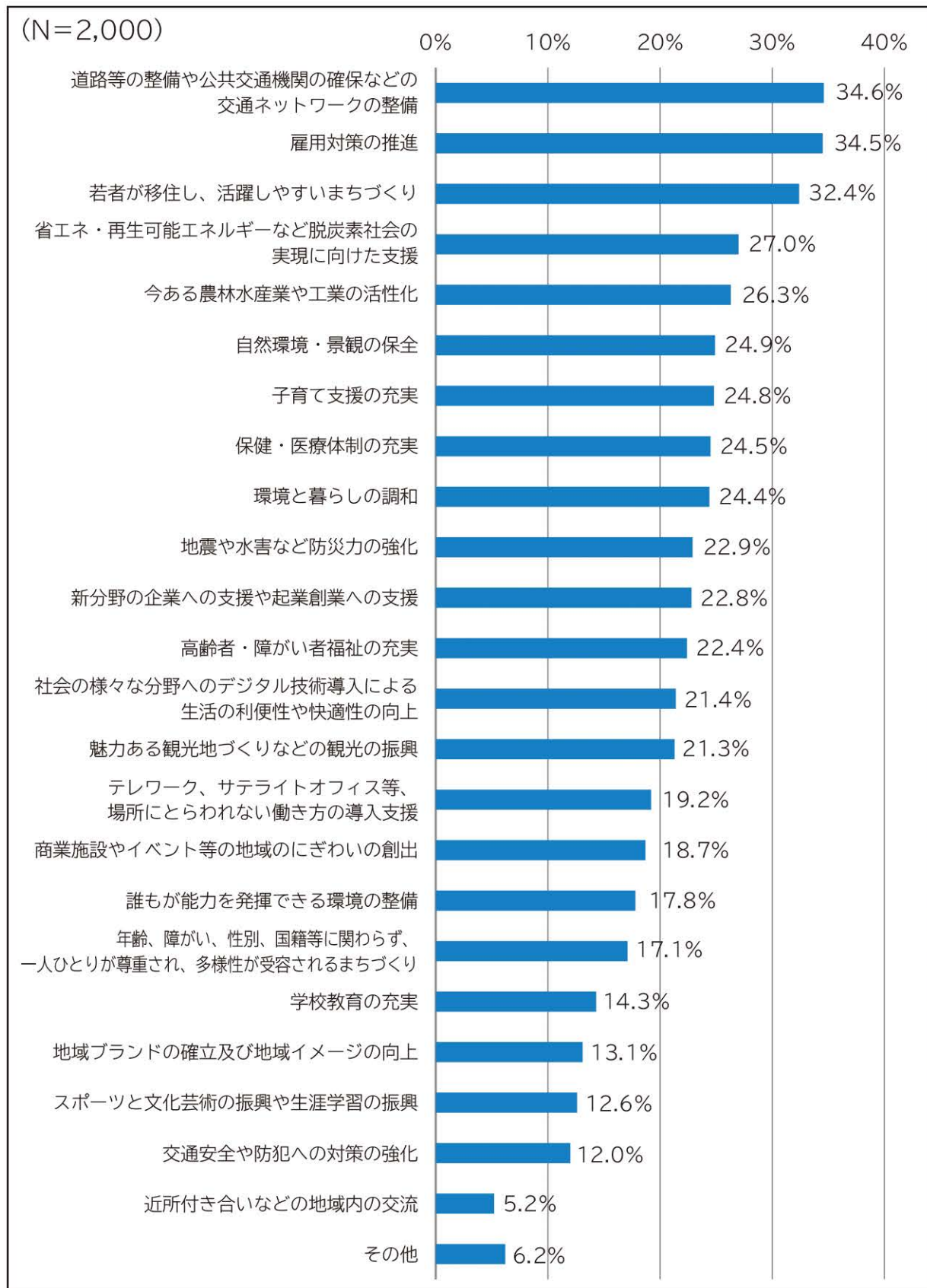
⑦愛媛県に足りないもの（複数回答（該当するもの全て））

「若者が活躍できる環境」（42.0%）が最も多く、次いで「鉄道やバスの交通環境」（41.2%）、「魅力ある企業」（35.2%）、「安心な医療・福祉サービス」（21.5%）となっている。



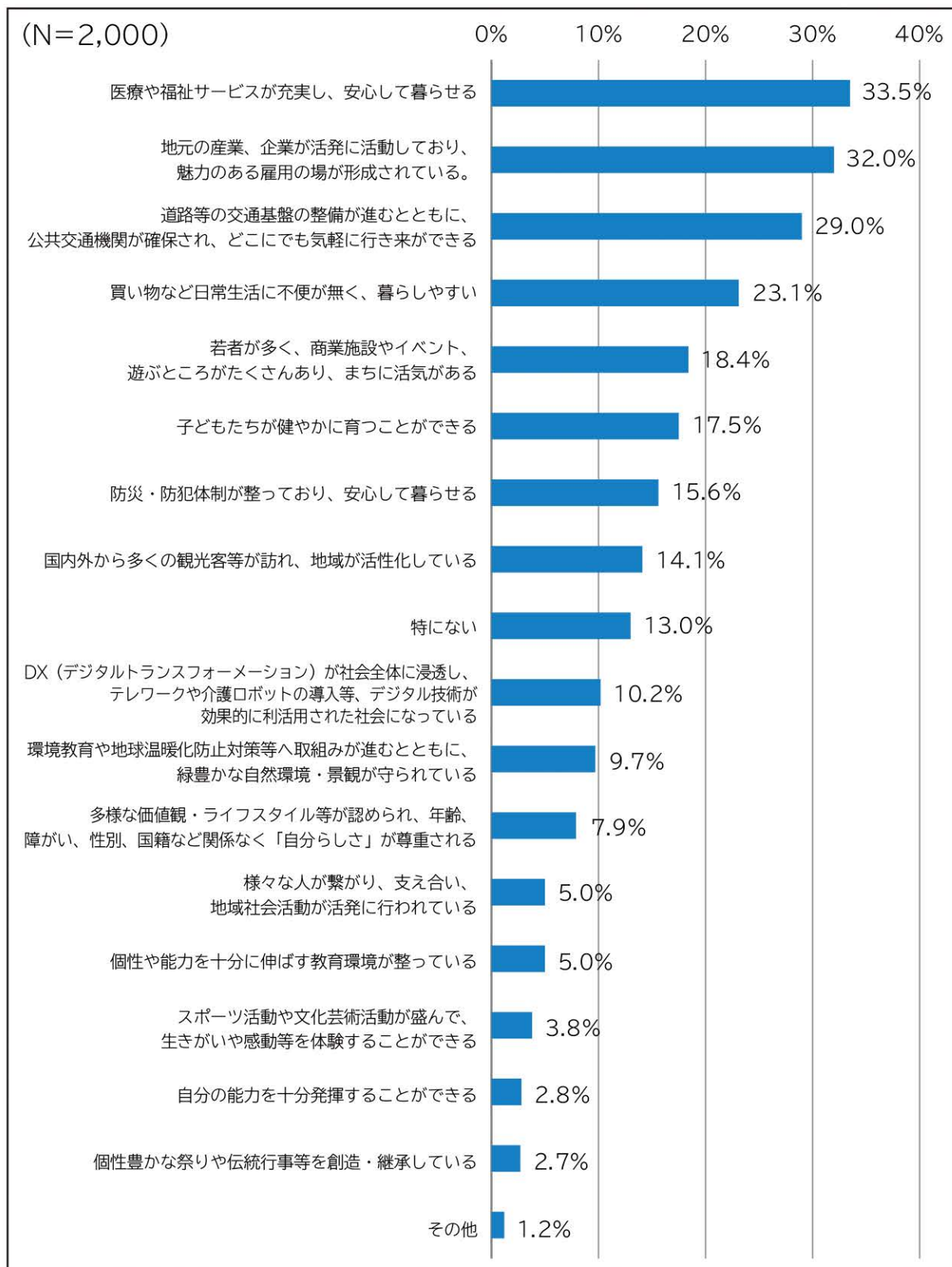
⑧愛媛県が優先して取り組むべき施策（複数回答（5つまで））

「道路等の整備や公共交通機関の確保などの交通ネットワークの整備」（34.6%）が最も多く、次いで「雇用対策の推進」（34.5%）、「若者が移住し、活躍しやすいまちづくり」（32.4%）、「省エネ・再生可能エネルギーなど脱炭素社会の実現に向けた支援」（27.0%）となっている。



⑨今後の愛媛県に期待すること（複数回答（3つまで））

「医療や福祉サービスが充実し、安心して暮らせる」（33.5%）が最も多く、次いで「地元の産業、企業が活発に活動しており、魅力のある雇用の場が形成されている」（32.0%）、「道路等の交通基盤の整備が進むとともに、公共交通機関が確保され、どこにでも気軽に行き来ができる」（29.0%）、「買い物など日常生活に不便が無く、暮らしやすい」（23.1%）となっている。



5. 愛媛県長期計画第3期アクションプログラムの検証に係るアンケート調査

(1) 調査概要

- ・調査対象 現行長期計画に掲げる4分野（産業・暮らし・人づくり・環境）における県内関係団体等
- ・調査方法 WEB調査を実施
- ・調査時期 令和4年9月中旬～令和4年9月下旬
- ・有効回収数 4つの分野別に、以下のとおり

項目	回答数
【総回答者数】	80
1 産業分野	38
2 暮らし分野	25
3 人づくり分野	16
4 環境分野	10

※複数の分野に回答した者があるため、総回答者数と各分野の回答数の合計は一致しない。

(2) 結果概要

①産業分野（単一回答）

この3年間の愛媛県の状況については、「やや悪くなっている・悪くなっている」が12%、「やや良くなっている・良くなっている」が50%であった。

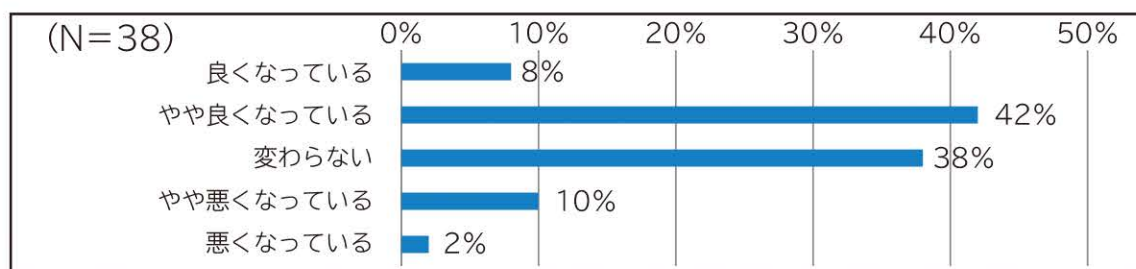
今後の状況については、「どちらかという悪くなっていく・悪くなっていく」が6%、「どちらかという良くなっていく・良くなっていく」が61%であった。

今後重視すべき施策として、

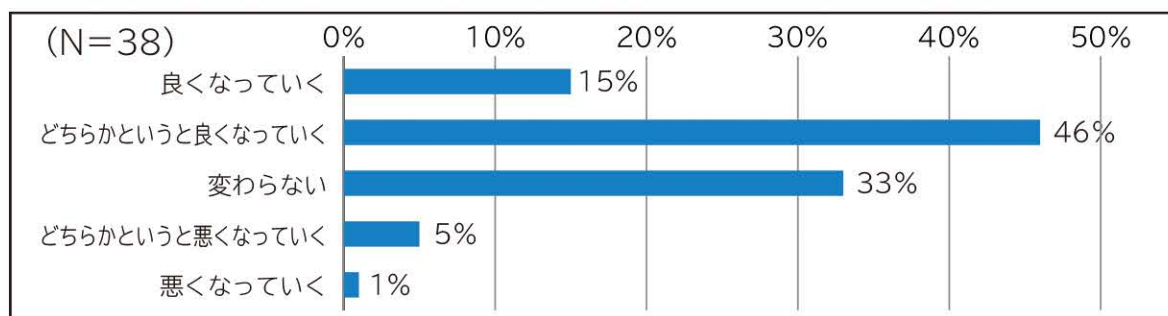
- ・サテライトオフィスやテレワーカーの誘致の強化、IT企業誘致、DXの推進など、デジタル分野での取組みの推進を期待する。
- ・ひめボス事業所やえひめ仕事と家庭の両立応援企業などの認定・認証制度について、なるべく分かりやすく統一し、企業が取り組みやすい制度設計にしてほしい。
- ・高齢者、若者、女性の就職支援、職場環境の整備、働き方改革が必要
- ・海外との取引や、ECサイト等によるマーケティングの強化や、プロモーションの強化等による観光の振興を求める。
- ・農林水産業において、担い手確保、省力化、生産技術開発等を求める。

との意見があった。

【この3年間の愛媛県の状況】



【今後の愛媛県の状況】



②暮らし分野（単一回答）

この3年間の愛媛県の状況については、「やや悪くなっている・悪くなっている」が3%、「やや良くなっている・良くなっている」が51%であった。

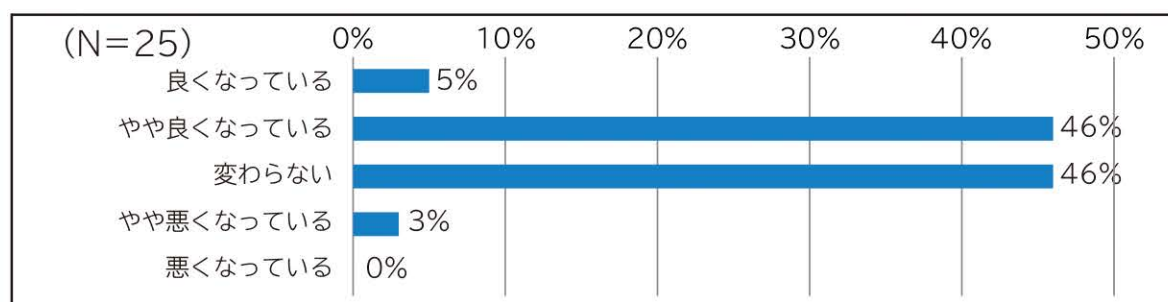
今後の状況については、「どちらかというと悪くなっていく・悪くなっていく」が2%、「どちらかというと良くなっていく・良くなっていく」の回答が64%であった。

今後重視すべき施策として、

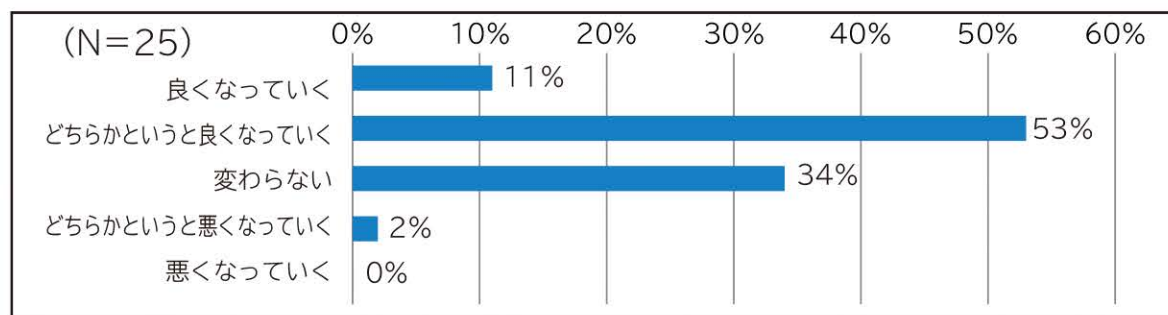
- ・若年層（特に若い女性）が愛媛で働きがいを持つことができ、出産・子育て・介護等がキャリアアップの妨げにならない就労・社会環境の実現のための行政・民間連携による総合的な事業やDV、性暴力対策が重要
- ・移住者のための地域や企業の情報発信、地域として自立できる産業政策が必要
- ・松山圏域の二次救急体制の見直し、高齢者の介護知識の啓発、インフラの耐震化等の防災・減災対策、高校生への自転車教育などが必要

との意見があった。

【この3年間の愛媛県の状況】



【今後の愛媛県の状況】



③人づくり分野（単一回答）

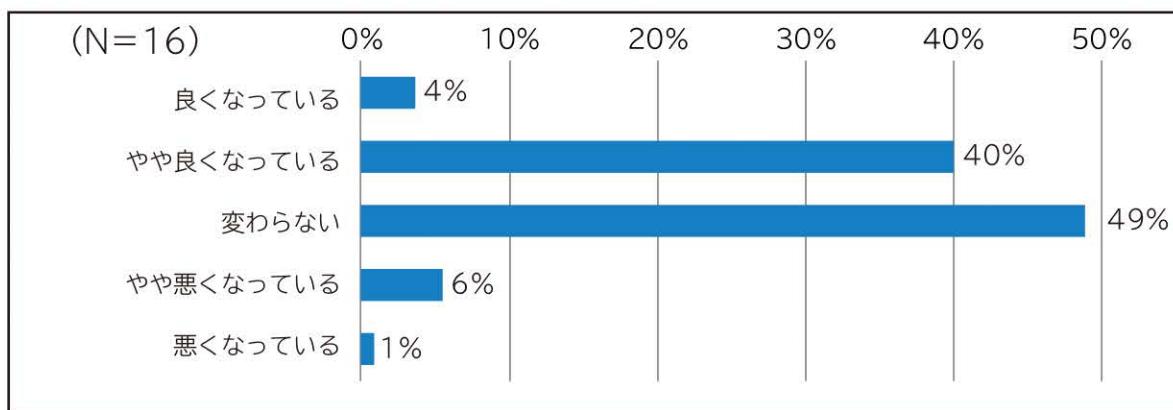
この3年間の愛媛県の状況については、「やや悪くなっている・悪くなっている」が7%、「やや良くなっている・良くなっている」が44%であった。

今後の状況については、「どちらかという悪くなっていく・悪くなっていく」が8%、「どちらかという良くなっていく・良くなっていく」が55%であった。

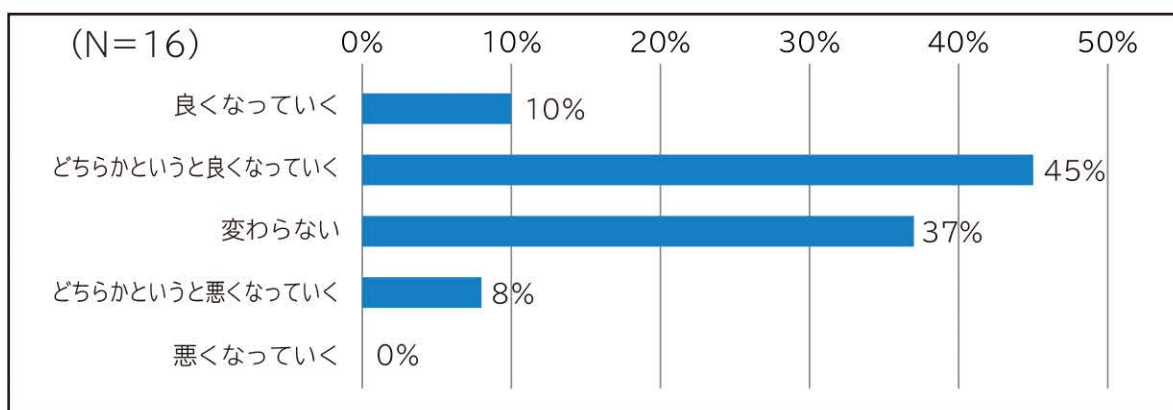
今後重視すべき施策として、

- ・ひとり親家庭の交流や支援の強化、生徒への経済的サポート、ICT環境の整備、習熟度別の授業、障がい児のための学校の環境整備を求める。
- ・スポーツに関して、地域のスポーツ団体と連携した教育環境の整備、スポーツ大会の開催支援、県総合運動公園への交通アクセスの改善を求める。
- ・結婚支援、子育て支援や、男性の育児等への参画推進のための企業の意識改革が重要との意見があった。

【この3年間の愛媛県の状況】



【今後の愛媛県の状況】



④環境分野（単一回答）

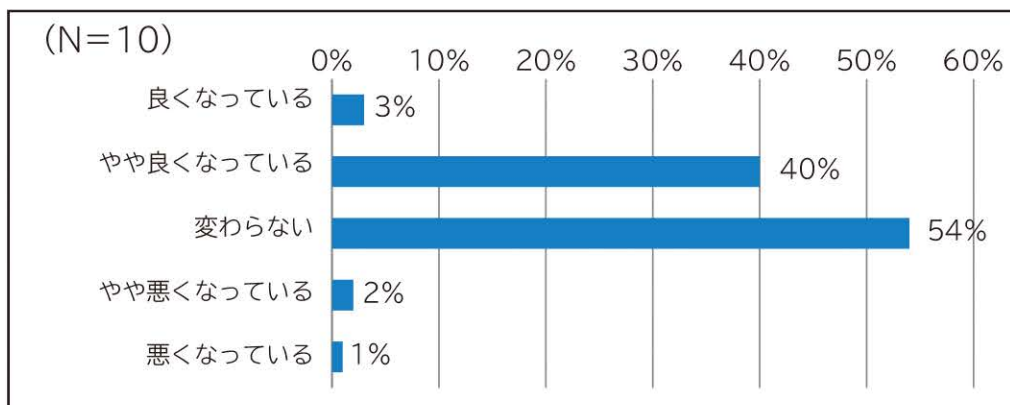
この3年間の愛媛県の状況については、「やや悪くなっている・悪くなっている」が3%、「やや良くなっている・良くなっている」が43%であった。

今後の状況については、「どちらかという悪くなっていく・悪くなっていく」が4%、「どちらかという良くなっていく・良くなっていく」が61%であった。

今後重視すべき施策として、

- ・子どもたちへの環境教育の充実のほか、行政や民間における環境教育の専門職員の採用、雇用支援が必要
 - ・3Rに積極的に取り組む優良モデル事業所のPR事業の充実、小規模事業者の廃棄物に対する育成・指導の充実、海岸漂着物対策の更なる推進、災害廃棄物処理関連施策の充実を求める。
 - ・森林整備とそのための担い手確保や、里地、里山を保全する活動を継続するためのリーダーの育成、組織の広域化等の支援が必要
- との意見があった。

【この3年間の愛媛県の状況】



【今後の愛媛県の状況】

